

神奈川県スポーツ振興指針

アクティブかながわ・スポーツビジョン 改訂版



平成 20 年 3 月

はじめに

1 アクティブかながわ・スポーツビジョン策定の趣旨

アクティブかながわ・スポーツビジョンは、県民の皆様が、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、2004年度（平成16年度）に策定いたしました。

2 ビジョンの構成と期間

このビジョンは、2015年度（平成27年度）までを展望し、第1章で「スポーツ振興の意義と課題」、第2章で「スポーツ振興のビジョン」、第3章で「スポーツのあるまち・くらしを実現するために」として具体的な施策について示しています。

3 今回のビジョン改訂の考え方

具体的な施策については、第3章の「当面の取組」として、2006年度（平成18年度）までに実施または実施予定の取組を示しましたが、2006年9月に改定された国のスポーツ振興基本計画や、2007年7月に策定した県の総合計画「神奈川力構想」などと整合を図るために見直し、このたび、改訂いたしました。

指針の構成

※太枠が改訂部分

構 成		内 容	目標年次 [見直し前の目標年次]
神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」 (2004年12月策定)	第1章「スポーツ振興の意義と課題」	スポーツ振興の意義や効果、本県におけるスポーツの状況と課題	2015年度(平成27年度) [変更なし]
	第2章「スポーツ振興のビジョン」	神奈川としてのこれからのスポーツ振興の基本的考え方とめざすすがた及び2015(平成27)年を展望した目標	2015年度(平成27年度) [変更なし]
神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」改訂版 (2008年3月改訂)	第3章「スポーツのあるまち・くらしを実現するために」	施策体系、具体的な施策・取組とその評価	「当面の取組」 2010年度(平成22年度) [2006年度(平成18年度)]
	資 料	—	〔第1章、第2章のデータ等 新規データを掲載〕

4 ビジョン改訂版について

今回改訂した第3章の「当面の取組」は、2010年度（平成22年度）までに実施または実施予定の取組を示しております。

また、第1章及び第2章に掲載されたデータ等で新規データのあるものは、参考資料として掲載しました。

このことから、この改訂版につきましては、2004年12月に策定・発行した神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」と併せてご使用ください。

なお、本指針全体の間接評価及び全体的な改定は、2010年度の国のスポーツ振興基本計画及び県の総合計画（実施計画）の改定内容を参しゃく^{*}して行うことを予定しています。

* 参しゃく：他のものを参考にして長所を取り入れること。

改訂版 目次

第3章	スポーツのあるまち・くらしを実現するために	1
1	アクティブかながわ・スポーツビジョン 施策・事業体系	2
2	スポーツのあるまち・くらしの実現に向けた施策・事業	4
	■生涯を通じたスポーツ活動の推進（アクションプログラム）	4
	きらきらプロジェクト ～子どものスポーツ活動の推進～	5
	わくわくプロジェクト ～みんなのスポーツ活動の推進～	9
	いきいきプロジェクト ～中高齢者のスポーツ活動の推進～	15
	■スポーツ活動を拓げる環境づくりの推進（サポートプログラム）	19
	システムプロジェクト ～スポーツ活動を支えるしくみづくり～	20
	チャレンジプロジェクト ～競技力向上のためのしくみづくり～	28
	エリアプロジェクト ～スポーツ活動の多様な場づくり～	31
3	施策・事業評価	35
資料		37

第3章

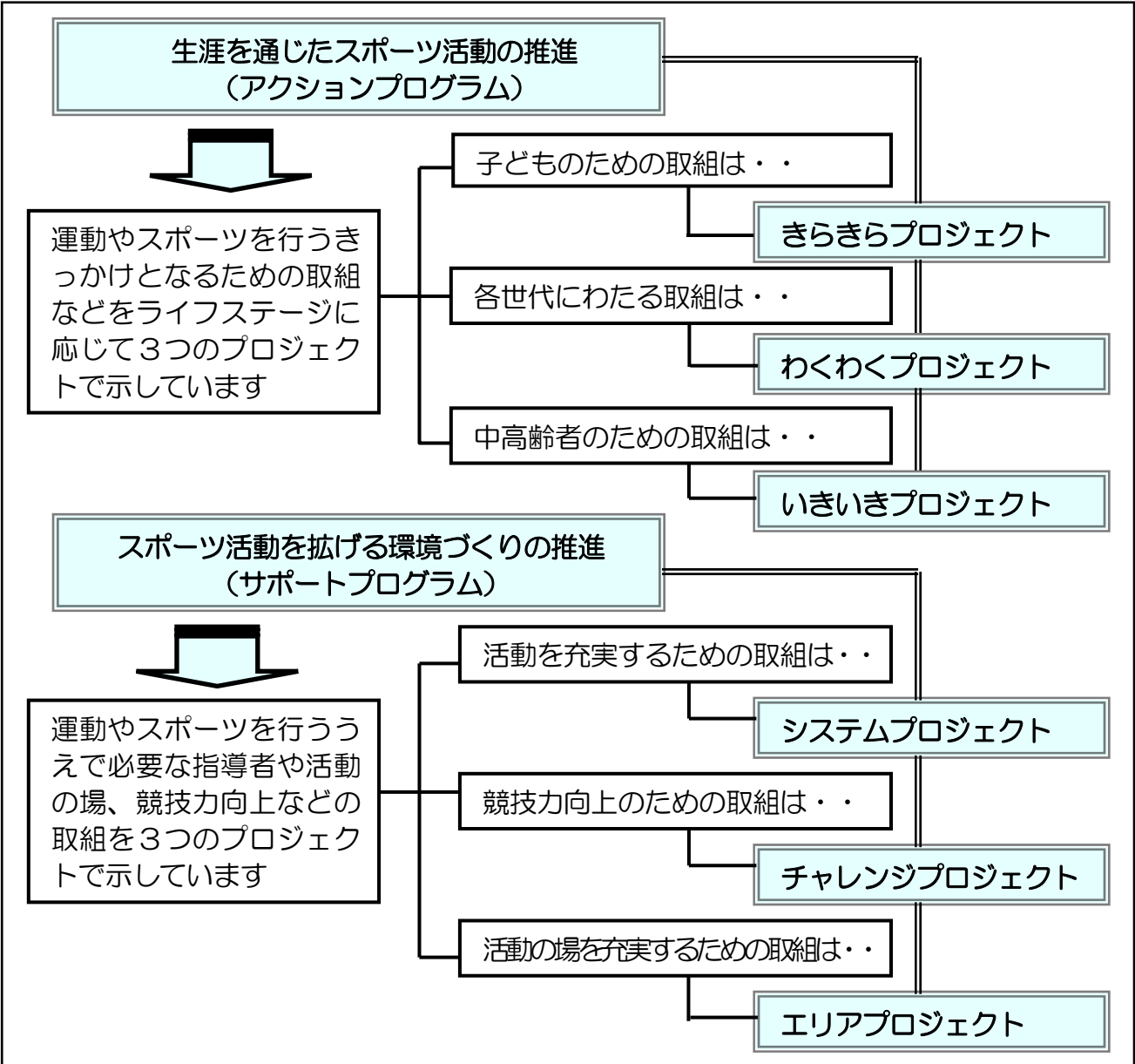
スポーツのあるまち・くらしを実現するために

この章では、第2章で基本理念として示したこれからの神奈川のめざす生涯スポーツ社会（スポーツのあるまち・くらし）を実現するための2015年までの取組と、その取組の成果や課題を検証するための施策・事業評価について示しています。

この章で示している取組の推進にあたっては、第2章で示した「スポーツ振興の考え方」を基本的な考え方として推進します。

取組は大きく2つの柱とそれぞれ3つの施策（プロジェクト）で構成し、各プロジェクトは、それぞれ数本の事業（プログラム）で構成しています。全体として23本のプログラムがあり、そのうち、特に重点的に取り組む事業を「重点プログラム」としています。

また、具体的な取組については、「当面の取組」と「中長期的な取組」に分類し、「中長期的な取組」については、「当面の取組」の成果を検証しつつ取り組む必要があるため、必ずしも記載しているすべての取組の実施が確定されているわけではありません。



1 アクティブかながわ・スポーツビジョン 施策・事業体系

生涯を通じたスポーツ活動の推進（アクションプログラム）

子どもたちのスポーツ活動の推進

1 子どもの遊び・スポーツ活動の推進 （重プロ）

- 《主な取組》○外遊び、スポーツ活動の奨励
○「児童生徒健康・体力づくり推進委員会」の活性化 等

2 学校の運動部活動の活性化

- 《主な取組》○運動部活動活性化事業の推進
○運動部活動と地域のスポーツクラブとの連携 等

3 学校における体育・スポーツ活動、健康教育の充実

- 《主な取組》○児童生徒の健康・体力づくりプログラムの提供
○教員の指導力向上に向けた研修事業の充実
○「かながわイキイキスクール実践研究事業」の推進 等

みんなのスポーツ活動の推進

1 3033(サマルツツ)運動の推進 （重プロ）

- 《主な取組》○3033運動啓発キャンペーンの推進
○スポーツ指導者等を活用した3033運動の普及
○3033運動プログラム開発と活用促進 等

2 県民スポーツ週間の実施 （重プロ）

- 《主な取組》○「県民スポーツ週間」中央行事の開催
○「かながわアスリートネットワーク」の活用 等

3 みんなが楽しめるスポーツ活動の推進

- 《主な取組》○NPO等が主催するスポーツイベントとの協働
○スポーツ観戦の奨励 等

4 スポーツ交流の促進

- 《主な取組》○スポーツ活動を通じた親子や世代間の交流イベントの開催
○友好交流先とのスポーツ交流の推進 等

5 競技スポーツ活動の機会の提供と表彰制度の充実

- 《主な取組》○全国的な体育・スポーツ大会への参加支援
○地域の青少年スポーツ指導者や優秀選手等の表彰制度の充実 等

中高齢者のスポーツ活動の推進

1 健康・体力づくりの推進 （重プロ）

- 《主な取組》○健康・体力づくり推進体制の整備
○中高齢者のための健康・体力づくり運動の奨励
○職場の健康・体力づくり運動の推進 等

2 レクリエーション・ニュースポーツの推進

- 《主な取組》○レクリエーションやニュースポーツイベントの推進
○自然とのふれあいを深める活動の支援 等

3 地域でいきいきと活動する中高齢者への支援と活用

- 《主な取組》○地域のスポーツクラブ等における運営スタッフとしての活用の推進
○子どもの活動を地域で見守るスタッフとしての活用 等

□ (重プロ) は本ビジョンにおける重点プログラム

スポーツ活動を拡げる環境づくりの推進 (サポートプログラム)

システムプロジェクト
スポーツ活動を支えるしくみづくり

- 1 総合型地域スポーツクラブ育成への支援 (重プロ)
 - 《主な取組》○総合型地域スポーツクラブの普及・啓発事業の推進
 - 総合型地域スポーツクラブの運営に携わる様々な人材の育成
 - クラブ相互のネットワークの推進 等
- 2 指導者の育成と活用のネットワーク化の推進
 - 《主な取組》○質の高い指導者の育成とスポーツリーダーバンクの充実
 - 有資格指導者を有効活用するためのネットワーク化の推進 等
- 3 スポーツボランティアの活用・充実
 - 《主な取組》○スポーツボランティアの活用
 - スポーツボランティア組織の充実
- 4 スポーツ関係団体等の育成・支援
 - 《主な取組》○スポーツ関係団体への支援と連携・協働の促進
 - スポーツ関係NPO等との協働の促進 等
- 5 スポーツ情報サービス機能の充実
 - 《主な取組》○「K S I O (Kanagawa Sports Information Officer) ネットワーク」の拡大・充実
 - 各地域の情報ネットワークの支援 等
- 6 スポーツ医・科学の支援と調査研究の推進
 - 《主な取組》○「運動実践定着化プログラム(仮称)」等の活用促進
 - スポーツ医・科学の情報提供及び講習会の充実 等
- 7 県立体育センターの機能の充実
 - 《主な取組》○スポーツの普及・啓発の充実
 - 学校体育に関する支援 等

チャレンジプロジェクト
競技力向上のためのしくみづくり

- 1 競技力向上へ向けたトップアスリートの育成と活用 (重プロ)
 - 《主な取組》○一貫指導体制の整備
 - トップアスリートの活用の推進
 - 選手育成強化体制の拡充 等
- 2 トップアスリートを支える体制の構築
 - 《主な取組》○スポーツ医・科学サポート体制の確立
 - プロスポーツ団体、企業スポーツチームとの連携 等

エリアプロジェクト
スポーツ活動の多様な場づくり

- 1 学校体育施設利用の促進 (重プロ)
 - 《主な取組》○学校体育施設開放の充実
 - 地域のスポーツクラブの活動拠点としての利用促進 等
- 2 県立スポーツ施設等の整備と利活用の促進
 - 《主な取組》○県立スポーツ施設の運営改善
 - 指定管理者制度導入による民間活力の活用 等
- 3 身近なスポーツ施設の利用促進と多様な場の創出
 - 《主な取組》○スポーツ施設を有する県立施設等の開放促進
 - 県が整備を行う河川などの公共空間における運動やスポーツの場の整備・提供 等

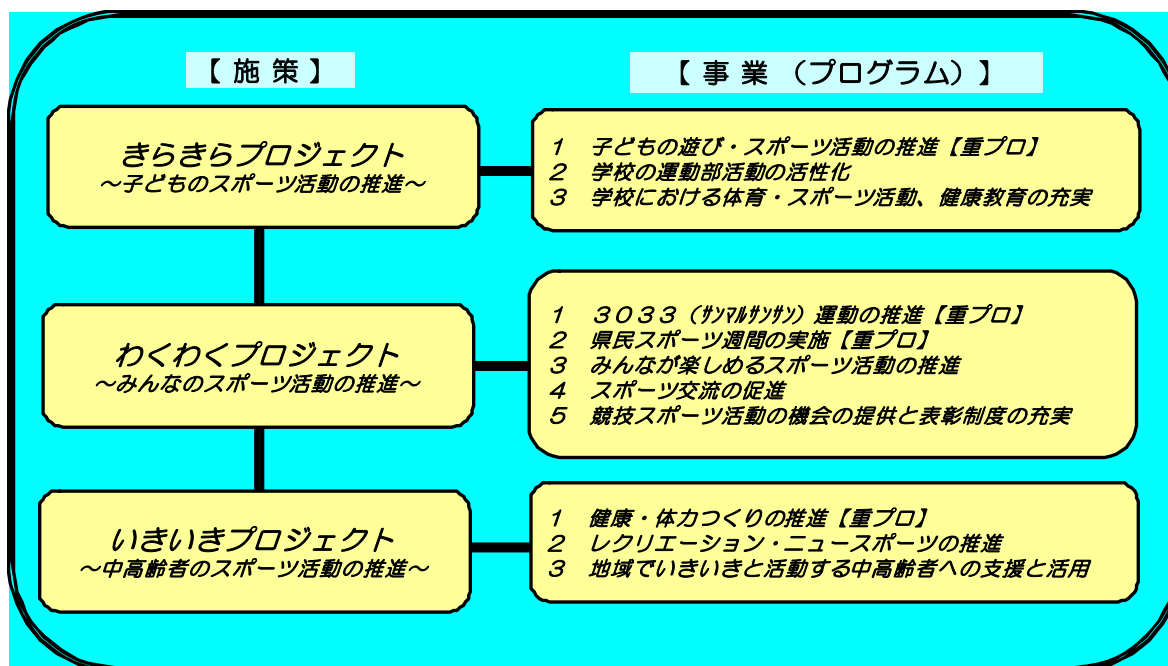
いつでもどこでも、だれでも、いつでも、運動やスポーツに親しまうことができる環境づくりを進めます。

生涯を通じたスポーツ活動の推進 (アクションプログラム)

すべての県民が、明るく活気に満ちた生活と豊かなスポーツライフを実現し、生涯の各時期にわたって、いつでも、どこでも、それぞれの興味・関心、目的や技能に応じて運動やスポーツに親しむことができるよう、様々なスポーツ活動の機会の提供に向けた取組を行います。

また、子どもにおいては、体を動かすこと、スポーツを行うことの楽しさを十分に味わい、生涯を通じて主体的に運動やスポーツに親しむことができるように、学校をはじめ、地域社会が一体となって子どものスポーツ活動の充実に取り組みます。

さらに、中高齢者が運動やスポーツに親しみ、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、レクリエーションやニュースポーツなど、手軽に行うことができるスポーツ活動の機会の提供を充実します。



きらきらプロジェクト

～子どものスポーツ活動の推進～

プロジェクトの目標

子どもの頃から体を動かす楽しさやスポーツの楽しさを十分に味わうことにより、子どもたちが生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培い、健康な生活習慣を身につけ、主体的に運動やスポーツを実践する意欲を育むことができるよう、学校、家庭及び地域が連携し、子どもの遊びやスポーツ活動を推進します。

また、教育活動の一環として重要な役割を担っている運動部活動をより一層活性化するとともに、学校における体育・スポーツ活動、健康教育の充実を図ります。

幼児期から少年期にかけての外遊びや運動・スポーツの体験は、心身の健全な発育・発達に大きな影響を与えるとともに、生涯を通じて豊かなスポーツライフを築くための基盤となります。

この「きらきらプロジェクト」は、子どもたちが外遊びや運動・スポーツに接する場や機会を充実させるとともに、体育・スポーツ活動、健康教育の充実を図り、子どもたちが生涯を通じて主体的に運動やスポーツに親しむことができるように、学校はもとより、家庭や地域が一体となって、様々な取組を推進するものです。

また、それぞれの生徒が自分のライフスタイルに合わせて、スポーツ活動に親しむことができるよう運動部活動の活性化を進めます。

構成事業（プログラム）

- 1 子どもの遊び・スポーツ活動の推進 【重点プログラム】
- 2 学校の運動部活動の活性化
- 3 学校における体育・スポーツ活動、健康教育の充実

1 子どもの遊び・スポーツ活動の推進 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

子どもたちが外遊びの楽しさや、運動やスポーツの楽しさを味わうとともに、運動やスポーツに親しむための機会の拡大と習慣化をめざし、健康・体力づくりに対する意識の高揚と実践の定着化を図るとともに、家庭や地域が一体となって子どもの外遊びやスポーツ活動を奨める取組を推進します。

また、スポーツ指導員や大学生、高校生選手を招いてスポーツ教室を開催するなど、特色ある健康・体力づくりを進め、教職員や子どもたちの意識向上を図ります。

さらに、保育所や幼稚園と小学校、家庭や地域が連携するなど、幼児期から外遊びに親しむための取組を推進します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★「子どもキラキラタイム実践」の推進

県内のすべての公立小学校で、総合的な健康・体力づくりに取組む「子どもキラキラタイム実践研究」を推進してきました。今後も、これまでの取組を充実、発展させながら、各小学校が独自の実践を継続します。

★「児童生徒健康・体力づくり推進委員会」の活性化

学校・家庭・地域・行政等が連携を図り、子どもの健康・体力づくりを効果的・効率的に進めるため、「児童生徒健康・体力づくり推進委員会」で様々な取組を検討するなどにより一層の活性化を図ります。

★青少年を対象とした地域のスポーツクラブの活性化

運動部活動や民間のスポーツクラブに加入していない子どもたちなどに、運動やスポーツ活動の実践を促すため、関係団体等と連携を図りながら、地域のスポーツクラブやスポーツ少年団の活性化を図ります。

★外遊び、スポーツ活動の奨励

子どもたちがより一層外遊びの楽しさを味わい、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ習慣を身に付けることができるよう、保育所や幼稚園、小学校、地域などでいろいろな外遊びや運動、スポーツを奨励する機会を設けます。

そのための取組として、PTA、自治会や子ども会等と連携しながら、学校も含めた公園等の身近な施設での外遊びの奨励、子どもたちが安全に自由な発想で外遊びができるための指導者の活用、自然を生かした遊び体験の機会を設けるなどの取組を推進します。

★幼児期からゴールデンエイジまでの運動プログラムの開発

幼児期からゴールデンエイジまでの各ステージに応じた運動プログラムや、保育所、幼稚園、小学校に高校生や大学生をボランティアとして派遣して運動やスポーツの楽しさを紹介するプログラムなどの開発に取組みます。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★幼児期からゴールデンエイジまでの運動やスポーツ指導を行う指導者養成のためのプログラム開発

幼児や児童に関わる組織や機関等の関係者と連携し、幼児や児童が安全に楽しめる運動プログラムの実践を通じて指導者を養成するとともに、養成された指導者の指導力向上の方策について検討します。

めざすすがた

学校では休み時間や放課後に、子どもたちが元気にたくましく、多くの仲間とともに外で遊んでいます。

放課後や休日のグラウンドや公園などでは、多くの子どもたちが外遊びを元気に楽しむ姿や親子で楽しむ姿が見られ、自分の好きな運動やスポーツを見つけ、地域のスポーツクラブなどできらきらと輝きながら活動しています。

2 学校の運動部活動の活性化

施策の基本的考え方

運動部活動は、教育活動の一環として重要な役割を担っています。生徒の多様なニーズに対応した運動部活動を促進するとともに、多くの子どもたちが参加できる大会の普及や促進、地域のスポーツクラブとの連携による複合的な運動部活動を展開します。また、長年にわたって優秀な成績を収めている指導者の活用、及び運動部活動と地域のスポーツクラブとの連携を図る指導者の育成と活用により活性化を図ります。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★運動部活動活性化事業の推進

「かながわ部活ドリームプラン21」の推進計画に基づいて、運動部活動に係る関係機関等と連携しながら、「誰もが参加したくなる」部活動、「地域ぐるみで育む」部活動、「切磋琢磨する」部活動等、新たな視点での方策を推進し、生徒の部活動への参加促進と競技レベルの向上をめざします。また、専門的指導のできる外部指導者などを活用して運動部活動の活性化を図ります。

★運動部活動と地域のスポーツクラブとの連携

生徒の多様なニーズに応じた新たな運動部活動の形態として、地域のスポーツクラブと連携した活動を推進するための拠点校を定めるなど、新たな運動部活動の推進を図ります。

★学校と地域スポーツ活動をコーディネートする人材の育成と活用

生徒の多様なニーズに応じた運動部活動と地域のスポーツクラブの連携、学校体育施設を活用したスポーツクラブの振興等、学校と地域をコーディネートするための指導者の育成と活用の推進を図ります。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★「スポーツ専門指導教員（仮称）」の任命

全国または国際的な競技会や発表会等で長年にわたって優秀な成績を収めている教員を「スポーツ専門指導教員（仮称）」として任命し、運動部活動の活性化や指導者育成に向けた環境整備を検討します。

めざすすがた

授業を終えた多くの生徒がそれぞれ運動部活動を楽しんでいます。生徒は、自分のライフスタイルに合わせて学校の運動部活動と地域のスポーツクラブで楽しんでいます。

また、学校にはスポーツ専門指導教員（仮称）やコーディネーターがいて、各自のスポーツライフに合った指導や地域のスポーツクラブとの橋渡しをしてくれます。

3 学校における体育・スポーツ活動、健康教育の充実

施策の基本的考え方

運動する子どもとしない子どもの二極化傾向が見られることから、生涯にわたる豊かなスポーツライフと健康の保持増進の基礎を培う体育や保健を中心とする健康教育の充実を図るとともに、子どもたちの主体的な運動やスポーツ活動、生活改善の取組等を家庭や地域と連携して支援します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★児童生徒の健康・体力づくりプログラムの提供

毎年実施する「児童生徒の体力・運動能力調査」結果から、児童生徒個々の体格、体力、生活実態に応じた健康・体力づくりプログラムが提供できるように体力診断ソフトを開発します。

★教員の指導力向上に向けた研修事業の充実

生涯スポーツを基盤とした運動やスポーツの考え方や捉え方、体育や保健の授業に加え、健康に関する諸課題に対応する健康教育などについての研修事業の充実を図ります。

★児童生徒の体育・スポーツ活動の支援

児童生徒の体育・スポーツ活動、自然体験、健康に関する総合的な学習の時間や校外学習、ボランティア活動等について、児童生徒のニーズに合わせて県立体育センターをはじめとする様々な県関係機関が支援します。

★「かながわイキキスクール実践研究事業」の推進

小学校の「子どもキラキラタイム実践研究事業」の成果を踏まえて、すべての公立中学校において、総合的な健康・体力づくりに取組む「かながわイキキスクール実践研究事業」を推進します。

★健康や体力、生活習慣などに関する相談体制の整備

子どもたちの健康・体力、体育や保健の授業、生活習慣などの身近な悩みや相談に対し、専門的な立場からアドバイスできるような、相談体制の整備に取り組めます。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★心と体に関する健康教育の推進と充実

児童生徒が、学校生活のみならず、生涯に渡って健康を維持増進していくために必要な資質を培うことができるように、心と体の両面からのアプローチを中心に学校教育活動全体で担う健康教育推進に向けて、研修事業の充実を図ります。

めざすすがた

児童生徒が自分の体力や健康のために生活を見直し、進んで運動やスポーツ活動に取り組んでいます。子どもたちを取り巻く環境をみると、子どもたちの健康・体力づくりの支援体制が充実し、学校、家庭、地域と連携した体育・スポーツ活動、健康教育が盛んに行われています。

また、学校内においても、児童生徒、保護者、教師のそれぞれの課題や問題に対応する支援、相談体制ができています。

わくわくプロジェクト

～みんなのスポーツ活動の推進～

プロジェクトの目標

県民のくらしの中にスポーツが根づくよう、3033（サンマルサンサン）運動や県民スポーツ週間に取り組み、県民一人ひとりの運動やスポーツの実践に向けた普及・啓発活動などを全県的に推進しながら、スポーツの生活化を図ります。

また、身近な場所や豊かな自然の中で、だれもが楽しめる様々なスポーツイベントを開催するとともに、スポーツを通じた地域交流や世代間交流を推進するなど、市町村やNPO、スポーツ関係団体等と連携を図りながら、県民一人ひとりの興味・関心や目的に応じたスポーツ活動の機会を提供します。

さらに、様々なスポーツ大会の開催などにより、競技スポーツとしての活躍の機会を提供し、県民のスポーツ活動への参加意欲を高めます。

より多くの県民がスポーツ活動に親しみ、くらしの中にスポーツが根づくためには、県民一人ひとりのニーズに対応し、スポーツの楽しさやおもしろさ、また、スポーツの持つ魅力を味わうことができる様々な取組の充実が望まれます。

特に、神奈川の持つ豊かな自然や人材を、これからのスポーツ振興に欠かすことのできない資源として活用するとともに、スポーツが持つコミュニケーション機能を生かし、そこから発信するスポーツを通じた様々な交流を図ることも重要です。

この「わくわくプロジェクト」は、市町村やNPO、スポーツ関係団体、民間企業等と連携を図りながら、スポーツイベントや各事業をさらに魅力あるものとして充実を図り、県民一人ひとりがくらしの中で、スポーツを楽しく親しむことができるようにすることをめざすものです。

構成事業（プログラム）

- 1 3033（サンマルサンサン）運動の推進 【重点プログラム】
- 2 県民スポーツ週間の実施 【重点プログラム】
- 3 みんなが楽しめるスポーツ活動の推進
- 4 スポーツ交流の促進
- 5 競技スポーツ活動の機会の提供と表彰制度の充実

1 3033（サンマルサンサン）運動の推進 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、主体的に運動やスポーツを実践できるよう、関係団体や企業等との連携を図り、様々なマスメディアを活用しながら、運動やスポーツを行うきっかけづくりや継続した実践のための普及・啓発活動と、そのための人材活用などを推進します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★3033運動啓発キャンペーンの推進

様々なイベントやマスメディアを活用して3033運動啓発キャンペーンを推進します。また、「3033生涯スポーツ推進委員会（仮称）」を設立し、全県的に3033運動に取組みます。

★スポーツ指導者等を活用した3033運動の普及

3033運動を県内各地域に定着させるため、市町村の体育指導委員やレクリエーション指導者等を対象に「3033運動普及員」を養成し、その活用を図ります。

また、様々な機会を捉え、健康運動指導士などの指導者やスポーツボランティア等を活用し、3033運動の普及を図ります。

★3033運動プログラム開発と活用促進

子どもから高齢者まで、様々な運動ニーズにあった3033運動の実践プログラムを開発するとともに、市町村や健康関連団体等に対し、プログラムの活用を促進します。

★くらしの中で手軽にできる運動実践の奨励

くらしの中で手軽にできるウォーキング、体操・ストレッチ運動、階段の昇降運動などを積極的に実践するための奨励事業を推進します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★市町村や関係団体における3033運動の推進

3033運動が各地域で根づくよう、市町村や関係団体におけるモデル事業の実施など、自主的な取組による全県的な拡がりに向けた検討を行います。

めざすすがた

学校、家庭、地域及び企業等の積極的な協力を得て、多くの県民が、3033運動をきっかけとして、運動やスポーツを生活の一部として取り入れ、心身ともに健康な生活を営んでいます。

子どもたちは生涯にわたる健康の基礎を築き、各ライフステージで、運動やスポーツが生活に定着し、健康寿命が延び、いきいきと明るく豊かな生活を送っています。

2 県民スポーツ週間の実施 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

日ごろ運動やスポーツに親しんでいない県民の方も含め、一人ひとりが体力や年齢に応じ、運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を営むことができるよう、運動やスポーツに親しむきっかけづくりとして「県民スポーツ週間」を、市町村や「かながわアスリートネットワーク」*などの協力のもとに実施します。

* かながわアスリートネットワーク

県内スポーツ関係著名人やプロスポーツ選手、国体出場選手等により創設される、本県のスポーツ振興に貢献することを目的とする組織です。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★「県民スポーツ週間」中央行事の開催

「県民スポーツ週間」を広く県民に周知・広報するとともに、その中央行事として、県民だれもが気軽に参加できるスポーツイベントを開催します。

★市町村や関係団体等によるスポーツ行事の開催

「県民スポーツ週間」に、市町村やスポーツ関係団体等の協力のもと、だれもが気軽に参加できるスポーツイベントを県内各地域で開催します。

★「かながわアスリートネットワーク」の活用

「かながわアスリートネットワーク」のメンバーが、市町村等の要請に応じて、県内のスポーツ教室やイベント等で指導者や講師として活動できるような体制を整えます。

★「かながわスポーツコンベンション」の開催

地域のスポーツクラブや（財）県体育協会、特定非営利活動法人県レクリエーション協会、大学、企業、NPO、行政などスポーツ関係団体の関係者が一堂に会し、生涯スポーツの推進に向けた相互の連携や協働のあり方、などについて情報交換や協議などを行う「かながわスポーツコンベンション」を開催します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★「かながわスポーツフェスタ（仮称）」の開催

「県民スポーツ週間」に、県、市町村、関係団体がそれぞれ行っている行事の有機的な結合を図り「かながわスポーツフェスタ（仮称）」として全県的な一大スポーツイベントを開催します。

めざすすがた

市町村などの関係団体をはじめ、「かながわアスリートネットワーク」などの積極的な協力を得て実施する「県民スポーツ週間」をきっかけとして、幼児から高齢者まで多くの県民が、運動やスポーツに親しみ、いきいきと明るく豊かで心身ともに健康な生活を営んでいます。

3 みんなが楽しめるスポーツ活動の推進

施策の基本的考え方

市町村、NPO、スポーツ関係団体や民間企業、さらに総合型地域スポーツクラブ等と連携し、県民だれもが身近なところで手軽にできるスポーツ活動や豊かな自然を生かしたアウトドアアクティビティ（野外活動）等、様々なスポーツ活動の機会を提供します。

また、様々なスポーツ活動の機会の提供にあたっては、財源確保の方策について検討を進めるとともに、県民の皆さんに受益者負担という考え方を理解していただきながら、多彩なプログラムの実現と継続的な取組をめざします。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★みんなが楽しめるスポーツイベント・教室の開催

県内のスポーツ施設を有効に活用し、県レクリエーション大会等の様々なスポーツイベント・教室を開催します。

★豊かな自然を利用したアウトドア活動の促進

青少年の家やキャンプ場などを活用し、青少年の自然体験や野外活動を促進します。

また、野外活動関係団体やアウトドアスポーツ関連企業等と連携を図り、本県の豊かな自然を利用した様々なアウトドアイベントを開催します。

★NPO等が主催するスポーツイベントとの協働

様々なスポーツイベント、教室等について、NPO等と協働して実施します。また、各団体等が行っているスポーツイベントを有機的に結びつけるための仕組みづくりを推進します。

★スポーツ観戦の奨励

スポーツが持つ魅力を多くの県民に伝えるため、インターネットなどを通じて、県内で行われる大規模な大会の情報やそれぞれのスポーツ種目の持つ醍醐味などを紹介する「スポーツ観戦情報の提供（仮称）」に取り組みます。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★生涯スポーツ振興のための財源確保の検討

県民による県民のための生涯スポーツ振興を推進するため、スポーツ振興や健康づくりに賛同する企業や関係団体等の協力を仰ぎ、基金や協賛金等の長期的な財源確保について検討を進めます。

めざすすがた

県内の至る所で県や市町村、NPO、スポーツ関係団体や民間企業、さらには地域のスポーツクラブなどが主催するスポーツイベントや教室などの事業が行われ、県民だれもがスポーツ活動に参加し、楽しむことができます。また、一人ひとりが、それぞれの目的にあった事業に参加し、仲間との交流を図り、さらに、心身ともに健康な生活を営むなど、スポーツを生活の一部としてスポーツ文化を享受しています。

4 スポーツ交流の促進

施策の基本的考え方

スポーツを通じて親子、仲間や地域はもとより、様々な世代の人々との交流を促すとともに、スポーツを通じたノーマライゼーションを図ります。また、友好交流先をはじめとする諸外国との交流の促進や、スポーツと音楽や美術などの文化芸術分野との融合を促進します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★スポーツ活動を通じた親子や世代間の交流イベントの開催

親子や家族、多世代で楽しめる交流イベント等の開催を促進します。また、高校生による地域の小学生、中学生との交流や大学との連携による多世代交流事業などを促進します。

★スポーツ活動を通じたノーマライゼーションの推進

障害のあるなしにかかわらず、共に実施できる運動やスポーツの魅力を生かし、様々な人々との相互理解を深めるための交流事業を開催するなど、スポーツ活動を通じたノーマライゼーションを推進します。

★友好交流先とのスポーツ交流の推進

本県と友好交流先との交流を深めるために、スポーツによる交流を積極的に推進し、県、中国・遼寧省、韓国・京畿道による「三県省道スポーツ交流事業」などの交流事業を推進します。

★スポーツをテーマとした文化芸術活動の推進

スポーツの魅力を伝える方策として、スポーツイベント等において、スポーツをテーマとした写真や絵画などの展示、発表を実施します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★外国籍県民や県内留学生等とのスポーツ交流の推進

国際色豊かな神奈川の特徴を生かし、市町村や関係団体と連携しながら、外国籍県民や留学生などと様々なスポーツを通じた交流事業を推進し、多文化共生社会の実現をめざします。

めざすすがた

休日などの自由時間には、それぞれの地域において、親子や仲間同士はもとより、様々な世代の人々と、運動やスポーツでともに汗を流すことで、様々なコミュニケーションが増え、地域連帯感や親子の絆など、相互理解が深まっています。また、スポーツを通じた国際交流が進み、諸外国との友好関係が深まっています。

5 競技スポーツ活動の機会の提供と表彰制度の充実

施策の基本的考え方

国民体育大会や全国障害者スポーツ大会など、全国的な体育・スポーツ大会への参加を支援するとともに、様々な人々が参加できる競技スポーツ活動の機会を提供し、競技スポーツ愛好者のすそ野の拡大を図ります。

また、表彰制度の充実により、選手、指導者、支援者等の功績を称え、スポーツ振興のより一層の充実を図ります。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★全国的な体育・スポーツ大会への参加支援

国民体育大会や全国障害者スポーツ大会、全国スポーツ・レクリエーション祭など、様々な全国規模の大会への参加を支援します。

★県総合体育大会、県障害者スポーツ大会等の充実

県総合体育大会、市町村対抗かながわ駅伝、県障害者スポーツ大会等の県主催の大会について、実施種目や参加定員の拡大を図るなど、より多くの県民が参加できる大会として開催します。

★地域の青少年スポーツ指導者や優秀選手等の表彰制度の充実

地域の青少年スポーツ指導者をはじめとして、各種大会で優秀な成績を収めた選手、チーム、指導者、ドクターなどに関する表彰制度について、市町村と連携しながら一層の充実を図ります。

★競技スポーツ活動の機会の拡大に向けた支援

競技スポーツ活動の機会の拡大を図るため、各競技団体が開催する競技会等を支援するなど、様々な人々が気軽に参加でき、競技者のすそ野を広げるための取組を支援します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★「かながわスポーツマスターズ（仮称）」の開催

競技スポーツ志向を持つ中高齢者の競技会参加の機会を拡大するため、中高齢者を対象とした「かながわスポーツマスターズ（仮称）」の開催に向けた検討を行います。

めざすすがた

子どもから高齢者まで、誰もが、それぞれのニーズにあったスポーツ活動を実践する中で、特に、記録や勝利をめざしたり、競技のあとの達成感や楽しさ、また、他の競技者や応援の人たちとの交流などを求めて、スポーツ活動を実践する競技者が様々な大会に参加しています。

いきいきプロジェクト

～中高齢者のスポーツ活動の推進～

プロジェクトの目標

中高齢者が運動やスポーツを通じて、心身ともに明るく豊かな生活を営み、地域でいきいきと生活することができるよう、健康・体力づくりを主眼としたレクリエーションやニュースポーツの振興を充実させるとともに、市町村や地域のスポーツクラブ等と連携を図りながら、一人ひとりが持っている経験や技術などの個性を発揮できるシステムを構築します。

中高齢を迎えると、体力の衰えを感じる人が増え、健康に対する関心が高くなります。このような年代の方々を対象とした、健康・体力づくりのための様々な取組の充実が望まれます。

また、仕事から解放された高齢者が地域の人々と豊かな交流を通して、生きがいのある人生を送るための一つ的手段として運動やスポーツは非常に有効です。

この「いきいきプロジェクト」は、運動やスポーツを通じて、進んで地域社会における人々との交流を促進するとともに、中高齢者の健康・体力づくりや生きがいづくり、さらに、自分の経験や技術などを地域社会や学校へ活用することなどの促進をめざすものです。

構成事業（プログラム）

- 1 健康・体力づくりの推進 【重点プログラム】
- 2 レクリエーション・ニュースポーツの推進
- 3 地域でいきいきと活動する中高齢者への支援と活用

1 健康・体力づくりの推進 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

運動やスポーツは健康の保持増進、生活習慣病の予防、心の健康等に効果をもたらすことが認められています。

今後、高齢化がさらに加速することや子どもの体力・運動能力の長期的な低下傾向を踏まえて、幼児から高齢者まで、県民が主体的に健康・体力づくりに取り組むことができるように、市町村、民間団体、企業等との連携を促進し、全県的な取組として健康・体力づくりを推進します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★健康・体力づくり推進体制の整備

「3033生涯スポーツ推進委員会（仮称）」を設置し、全県的に3033運動を推進することにより、健康・体力づくりを奨励します。

★中高齢者のための健康・体力づくり運動の奨励

本県の豊かな自然環境や文化財、名勝地、歴史的な町並みなどを生かし、手軽にできるウォーキングなどを関係団体と連携しながら奨励し、中高齢者のための健康・体力づくりを進めます。

また、健康・体力づくりのための運動が高齢者の自立や健康寿命の延長に効果があることを踏まえ、県内各地域において健康・体力づくり教室や転倒予防教室等の展開を促します。

★「健康づくりに向けた体操推進運動」の展開

高齢者が元気でいきいきとくらす社会づくりや、生活習慣病予防など生涯を通じた健康づくりのための「健康づくりに向けた体操推進運動」において、かながわ健康プラン21、3033運動、シニアフェスタ等との一体的な取組を進めます。

★職場の健康・体力づくり運動の推進

職場の健康・福祉の担当者などに働きかけることで、職場内や就労場所における健康・体力づくりを推進します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★健康・体力づくり推進優良団体等の表彰

地域や職域において、健康・体力づくりに対する取組を積極的かつ効果的に行っている団体等に対して表彰や、その実践事例を広く普及する取組について検討します。

めざすすがた

健康や体力に対する意識や関心が高まり、幼児から高齢者まで誰もが、家庭、学校、会社等の身近な場所において、外遊び、運動やスポーツを通じて、健康・体力づくりの実践に取り組んでいます。

また、県、市町村、NPO、民間団体や企業等と連携を図り、効果的・効率的に健康・体力づくりの実践が進められています。

2 レクリエーション・ニュースポーツの推進

施策の基本的考え方

誰もが気軽に身体を動かし、身体活動を通じたコミュニケーションや運動・スポーツの楽しさを味わい、世代間や家族、さらには自然との交流を深めることができるレクリエーションやニュースポーツを推進します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★レクリエーションやニュースポーツイベントの推進

気軽にできるスポーツ活動として、レクリエーションやニュースポーツの愛好者のすそ野を広げるため、県スポーツ・レクリエーション大会等の開催を支援します。

★レクリエーションやニュースポーツの普及・啓発と関係団体との連携強化

子どもから高齢者まで一緒に楽しむことができるレクリエーションやニュースポーツを普及・啓発する取組を促進します。

また、人材情報の充実や指導者の活用、連絡会議の開催などを通して、各関係団体との連携を強化します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★レクリエーションやニュースポーツを通じた交流の推進

レクリエーションやニュースポーツを活用した、高齢者と他世代との交流を図るための取組などを検討します。

★自然とのふれあいを深める活動の支援

本県の豊かな自然を生かし、ハイキングや登山、カヌー、キャンプ等のアウトドアアクティビティ（野外活動）や自然とのふれあいを深める活動の推進について、高齢者が安全に楽しめる取組に向けた検討を行います。

めざすすがた

年齢、性別や障害のあるなしにかかわらず、地域の豊かな自然をはじめ、様々な場所で手軽にできる、レクリエーションやニュースポーツを楽しみながら、仲間や地域の人々、また、世代を超えた交流が営まれています。

3 地域でいきいきと活動する中高齢者への支援と活用

施策の基本的考え方

中高齢者が運動やスポーツを通じて積極的に地域活動に参加したり、人々との交流が図られるよう支援するとともに、豊かな経験や知識、技能が発揮できるよう、スポーツクラブ等の地域活動の場において、中高齢者の活動の場の提供と活用を図ります。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★健康寿命の延長を支える運動・スポーツ活動の推進

運動やスポーツを通じて高齢者の健康寿命の延長を図るための取組を推進します。

★地域のスポーツクラブ等における運営スタッフとしての活用の推進

中高齢者が持つ豊かな経験、知識や技能を生かすために、各種研修会を実施して資質の向上を図り、地域のスポーツクラブ等における運営スタッフとしての参加を促進します。

★自由時間における生きがいづくりの推進

退職後の生活をより豊かにすることや、仕事と自由時間の活動の両立を図る方策の一つとして、スポーツ活動への参加を促進するとともに、活動を支えるボランティア活動への参加を促進します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★子どもの活動を地域で見守るスタッフとしての活用

子どもたちの心身の健やかな成長と子どもたちとの交流を図るため、身近な地域の公園や学校などで子どもたちが安全に外遊びやスポーツ活動を行うことができるよう、見守るスタッフとして中高齢者の活用を図る取組を検討します。

めざすすがた

元気いっぱいの中高齢者が、町のいたるところで、いきいきと活動しています。学校、地域の公園、体育館、地域のスポーツクラブなど、様々な場所で、一人ひとりがそれぞれの興味・関心や目的に応じて運動やスポーツを楽しんでいたたり、サポートしているなど、それまでの人生で培ってきた経験や技術などを思う存分発揮し、スポーツ活動を楽しんでいます。

スポーツ活動を拓げる環境づくりの推進 (サポートプログラム)

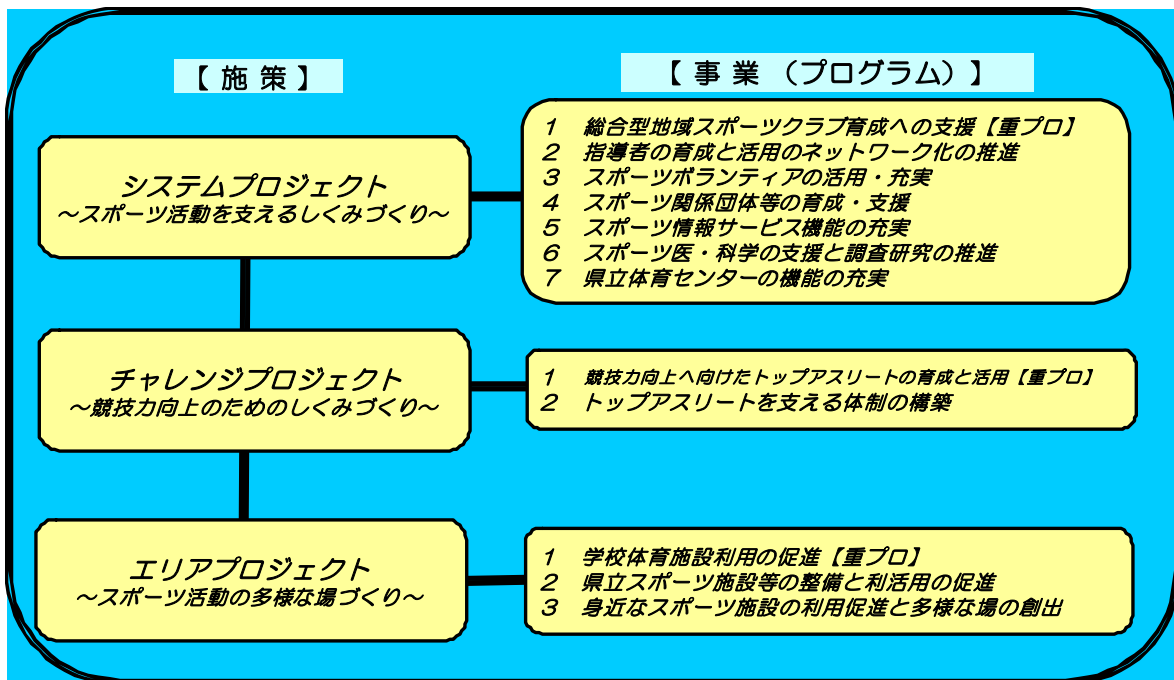
県民の多様なスポーツ活動へのニーズに対応し、本県のスポーツ振興の中核機関である県立体育センターを広域スポーツセンター*として位置づけ、その機能の充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、スポーツ活動を支える指導者やコーディネーター、スポーツボランティアなどの育成・支援、スポーツ情報の充実に向けた取組などを行い、県民が主体的にスポーツ活動に取り組むことができるよう支援します。

また、競技スポーツにおいて、人間の可能性や記録に挑戦するアスリートの活躍は、県民に夢と希望を与え、県民のくらしに活力をもたらします。そのため、子どもたちの目標となるようなスポーツ選手を育てるための強化体制の構築やトップアスリートの育成と活用を図り、神奈川の競技水準の向上を支援します。

さらに、県民の誰もが身近な場所で外遊びやスポーツ活動を実践できるよう、学校体育施設の利用を促進するとともに、県立体育センターをはじめとする県立スポーツ施設等の整備と利活用の促進や、多様なスポーツ活動の場の創出を図ります。

*広域スポーツセンター

国のスポーツ振興基本計画の中で、都道府県に対してその設置が求められている広域的にスポーツ振興を支援する機能を持つ組織です。総合型地域スポーツクラブの創設・運営に関する支援、広域圏における競技力向上に関する支援、スポーツ医・科学面からの支援及びスポーツ情報の収集・提供などを担います。



システムプロジェクト

～スポーツ活動を支えるしくみづくり～

プロジェクトの目標

県民の多様なスポーツ活動のニーズに対応し、本県のスポーツ振興の中核機関である県立体育センターを広域スポーツセンターとして位置づけ、その機能の充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、スポーツ活動を支える指導者やコーディネーター、スポーツボランティアなどの育成・支援、スポーツ情報の充実に向けた取組などを行い、県民が主体的にスポーツ活動に取り組むことができるよう支援します。

県民の誰もが、身近なところで、いつでも自分が行いたいスポーツに主体的に親しむことができる環境をつくるためには、スポーツの持つ魅力や楽しさを教えてくれる指導者や、様々な人とのネットワークを拡げるコーディネーター、さらには、スポーツを推進する組織や体制などのスポーツ環境を整備していくことが重要です。

この「システムプロジェクト」は、県民が主体的にスポーツ活動に取り組むことができるよう、これまでのスポーツ振興支援のしくみの有効性を検証しつつ、「する」スポーツだけでなく、「みるスポーツ（観戦するなど）」、「支えるスポーツ（教える、運営する、応援するなど）」など、スポーツとの様々な関わり方と可能性を視野に入れて、すべての人がそれぞれのニーズやライフステージに合わせ、日常生活の中で多様なスポーツの楽しみ方ができる環境づくりと新たなしくみづくりの推進をめざすものです。

構成事業（プログラム）

- 1 総合型地域スポーツクラブ育成への支援 【重点プログラム】
- 2 指導者の育成と活用のネットワーク化の推進
- 3 スポーツボランティアの活用・充実
- 4 スポーツ関係団体等の育成・支援
- 5 スポーツ情報サービス機能の充実
- 6 スポーツ医・科学の支援と調査研究の推進
- 7 県立体育センターの機能の充実

1 総合型地域スポーツクラブ育成への支援 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

県民に総合型地域スポーツクラブの普及・啓発を行うとともに、クラブ運営のための人材育成等を進め、神奈川県らしい総合型地域スポーツクラブの育成に取り組みます。また、地域の特性を生かしたクラブ育成を進め、アウトドアスポーツ等が主体のクラブや、大学や企業、民間スポーツクラブとの連携を図ったクラブ、複数の活動拠点を持つネットワーク型クラブなど、神奈川県が持つ様々な資源を活用しながらクラブの育成を進めます。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★総合型地域スポーツクラブの普及・啓発事業の推進

総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ振興はもとより、地域住民の交流等地域コミュニティの活性化にも寄与するなど様々な効果があることから、普及・啓発事業を推進します。

★総合型地域スポーツクラブの運営に携わる様々な人材の育成

クラブ運営に携わる人材として、地域とクラブを総合的にコーディネートする人材の育成をはじめ、企画・運営・経理及び指導等を行う専門スタッフや活動を支援するボランティアなど、地域においてクラブ運営の核となる人材の資質向上を図ります。

★学校教育活動と連携した総合型地域スポーツクラブの育成

学校教育活動等と総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、学校を拠点とした総合型地域スポーツクラブを育成します。

★クラブ相互のネットワークの推進

個別に活動している総合型地域スポーツクラブ相互のネットワーク化を推進するため、連絡協議会等を設置し、各クラブ相互の連携や協働を促進するなど、活動の活性化や定着化を図ります。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★大学、企業などと連携した総合型地域スポーツクラブの育成

地域の実態に即した総合型地域スポーツクラブの育成を図るため、大学、企業、民間スポーツクラブなどとの連携を探りながら、神奈川県らしい、地域性に富んだクラブの育成について検討します。

めざすすがた

県内各市町村において、それぞれの地域の実態に即した総合型地域スポーツクラブが地域住民の手で運営され、世代間を超えた交流や、多様なプログラムが展開されています。

各クラブでは、スポーツ活動を核に、地域活動や地域交流、ボランティア活動などが行われ、スポーツ振興、地域コミュニティの再生に寄与しています。

2 指導者の育成と活用のネットワーク化の推進

施策の基本的考え方

子どもから高齢者、障害者など様々な県民のスポーツニーズに対応した指導者を育成するとともに、指導者の情報を容易に入手できるよう、ネットワーク化を推進します。

また、地域のスポーツ振興を進める上で、マネジメント能力を備えた人材（コーディネーター）の育成を進めます。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★質の高い指導者の育成とスポーツリーダーバンクの充実

県民の多様なスポーツニーズに応えるために、各種団体等における質の高い指導者の育成を図るとともに、県スポーツリーダーバンクの活用を促進するためバンクの整備・充実を図ります。

★有資格指導者を有効活用するためのネットワーク化の推進

スポーツに関する有資格指導者の情報を県民のニーズに応じて提供できるよう、(財)県体育協会、特定非営利活動法人県レクリエーション協会などとのネットワーク化を推進します。

★高齢者や障害者等のスポーツニーズに対応したスポーツ指導者の育成

高齢者や障害者等のスポーツ活動をサポートするために必要な知識や技能を持った指導者を育成します。

★地域のスポーツ振興をコーディネートする人材の育成と活用

地域において、スポーツイベントや教室の企画や運営などのマネジメント能力を持つ人材を育成するとともに、その活用を図ります。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★地域における青少年のスポーツ指導者の資質向上

スポーツ少年団などの地域のスポーツクラブにおける青少年の指導者について、子どもの心身の発育・発達に関する知識をそなえ、一人ひとりの発育・発達段階に応じた適切な指導ができるよう、その資質向上を図る取組を検討します。

めざすすがた

健康・体力づくりや人との交流、競技力向上など、県民一人ひとりの目的にそって適切な指導ができる人材が各地域に配置され、必要な指導者がいつでも紹介されるシステムが構築されています。

また、地域のスポーツ活動を多角的にコーディネートするマネジメント能力を持った指導者が、市町村や民間団体、企業、総合型地域スポーツクラブ等との橋渡しを行い、地域住民のスポーツ参加を促しています。

3 スポーツボランティアの活用・充実

施策の基本的考え方

様々なスポーツ活動の企画や運営を支えるスポーツボランティアの必要性や活動の魅力を県民に啓発し、スポーツボランティアの活動の場を拡げるとともに、資質向上に向けた支援を行います。

また、スポーツ振興に関するボランティア活動等を行うNPOや県内大学等との連携を図り、スポーツ振興を支援する人材の活用を図ります。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★スポーツボランティアの活用

スポーツボランティアの活用促進を図るため、市町村、企業、スポーツ関係団体等のニーズに対応できる人材を確保します。

また、確保にあたっては、スポーツボランティアとして活動欲求のある高校生、専門学校生、大学生など若手人材の積極的な活用を図ります。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★スポーツボランティア組織の充実

ボランティア組織の充実を図るため、新しい人材の育成と、スポーツ振興に関するボランティア活動を行うNPO団体や大学のスポーツボランティアサークル等相互が連携したネットワーク体制の構築に向けた検討を行います。

めざすすがた

県民のスポーツ活動はより活発化し、様々なスポーツイベントや大会、スポーツ教室などが開催されるとともに、各種スポーツ団体の活動が活発化しています。

各事業の企画や運営を支えるスポーツボランティアをはじめ、全県的なイベントから、各市町村や地域における事業まで、多くのボランティアがスポーツ実施者の支えとなっています。

特に、青少年に対しては、年代が比較的に近い大学生が様々な場面で子どもたちのスポーツ活動を支えています。

4 スポーツ関係団体等の育成・支援

施策の基本的考え方

県、市町村とNPOを含む様々なスポーツ関係団体との役割分担を踏まえた中で、相互の連携・協働を推進し、各団体の自主的・自発的な活動を支援します。

また、県と団体等の連携・協働により、県民のスポーツニーズに対応する様々な取組を推進するとともに、様々な関係団体を有機的に結びつけるための全県的な組織の設置に向けた検討を行います。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★スポーツ関係団体への支援と連携・協働の促進

（財）県体育協会をはじめ、特定非営利活動法人県レクリエーション協会、県中学校体育連盟、県高等学校体育連盟、県体育指導委員連合会など、各スポーツ関係団体の活動を支援するとともに、連携・協働を促進します。

★健康・体力づくり関係団体との連携・協働の推進

（財）かながわ健康財団、（社）県医師会、3033生涯スポーツ推進委員会（仮称）、健康・体力づくり関係団体及び高齢者スポーツ関係団体等との連携・協働を促進します。

★障害者スポーツ関係団体との連携・協働の推進

神奈川県障害者スポーツ指導者協議会等、関係団体との連携・協働を促進します。

★スポーツ関係NPO等との協働の促進

スポーツ関係NPOとの連携を強化するなど、様々な場面においてスポーツ関係NPOとの協働を促進します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★スポーツ関係NPO等相互の連携を図るネットワークの構築

各種目団体やクラブなどのスポーツ関係NPO相互の連携を図るためのネットワークの形成について検討します。

めざすすがた

（財）県体育協会や特定非営利活動法人県レクリエーション協会をはじめとした様々なスポーツ関係団体の活動が一層活発化し、それぞれの団体が県民のスポーツ活動の支援を積極的におこなっています。

また、スポーツ振興を全県的に推進する組織により、それぞれの組織や団体の活動が効果的に推進されています。

さらに、スポーツに関わるNPOの活動も各地で様々な取組が行われ、多様なニーズに合わせた大会や講習会、教室が実施され、スポーツへの参加の機会を提供するなど、スポーツ実施者のすそ野の拡大に貢献しています。

5 スポーツ情報サービス機能の充実

施策の基本的考え方

KSIO (Kanagawa Sports Information Officer) ネットワーク*の機能を充実させ、市町村や地域のスポーツクラブ、スポーツ関係NPO、県や国の情報等を提供することにより県民のスポーツ活動をサポートします。

そのために、県スポーツ情報センターが情報収集・発信の中心（プラットフォーム）となり、地域の広域的な情報や、各地域の身近な情報を収集・発信できるシステムを構築します。

*KSIO (Kanagawa Sports Information Officer) ネットワーク

スポーツ情報を提供する人や組織のネットワークのことです。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★「KSIOネットワーク」の拡大・充実

県民に多様なスポーツ情報を提供するため、県や市町村、各競技団体、スポーツ関係NPO、地域スポーツクラブ等からの「KSIO (Kanagawa Sports Information Officer) ネットワーク」への参加拡大を図るとともに、KSIOが相互に情報交換できる場を設定します。

★体育・スポーツ・健康に関する情報提供の充実

体育・スポーツ・健康に関する情報を、ホームページにおける検索システムや E-mail など、多様な方法により提供します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★各地域の情報ネットワークの支援

地域における身近なスポーツ情報提供が可能になるよう、地域のスポーツクラブ等におけるKSIOの育成・活用を検討します。

めざすすがた

インターネットの普及、テレビのデジタル化など情報ツールの双方向化が進み、各種スポーツイベント・教室の開催、指導者情報や地域の核となる総合型地域スポーツクラブの情報、さらには施設の空き情報に至るまで、様々な情報を容易に見ることができるとともに、必要があれば家や出先から簡単に予約申込みができるようになっています。

また、町や地域コミュニティには、わが町、わが地区の情報担当者がいて、身近なスポーツ情報の収集・発信を行い、地域のスポーツ情報の提供が充実しています。

6 スポーツ医・科学の支援と調査研究の推進

施策の基本的考え方

健康・体力づくりから競技力向上まで、県民の多様なスポーツ活動が安全で効果的に行われるよう、県、市町村、(財)県体育協会、(社)県医師会、民間及び大学等の研究機関の連携を図り、スポーツ医・科学面からの支援や調査研究を推進します。

当面の取組(2010年度までに実施または実施予定の取組)

★「運動実践定着化プログラム(仮称)」等の活用促進

県民が、自らの体力や生活実態に応じて運動に取組み、習慣化できるよう支援する「運動実践定着化プログラム(仮称)」を作成し、市町村等での活用促進を図ります。

★県立体育センターにおける調査研究の充実

県民のスポーツ活動や健康・体力の向上、競技力向上対策及び保健体育教育等を側面的に支援するために、県立体育センターの施設・設備の充実を図るとともに、大学等の研究機関と連携を図りながら、スポーツに対する科学的なアプローチを深めます。また、調査・研究成果の効果的な活用を図ります。

★スポーツドクター、スポーツトレーナー等の活用の促進

競技団体の活動や中高校生の部活動などに対し、障害の予防と治療に関するスポーツドクター、スポーツトレーナー、栄養士、メンタルアドバイザー等の人材活用を促進します。

★スポーツ医・科学の情報提供及び講習会の充実

健康・体力づくりから競技力向上に至るまで、スポーツ医・科学に関する情報を収集・発信するとともに、関係機関と連携を図りスポーツ医・科学に関する知識や技能を習得するための講習会等を開催します。

★スポーツ医・科学支援ネットワークの構築

スポーツ医・科学に関して、(社)県医師会等、(財)県体育協会や県内大学等と連携・協力体制の構築を図ります。

中長期的な取組(2011年度以降に実施予定または検討する取組)

★スポーツ医・科学支援ネットワークの充実

県民の健康・体力づくりから競技力向上に至るまで、より安全で効果的なスポーツ活動を行うことができるよう、民間企業や大学等の研究機関、(社)県医師会等との連携による支援体制の充実を図ります。

めざすすがた

県、市町村、(財)県体育協会、(社)県医師会、民間企業及び大学等の研究機関の連携により、健康・体力づくりのために運動やスポーツを行う人からトップアスリートまで、それぞれの県民がスポーツ医・科学の支援を受け、より効果的で安全にスポーツ活動に取り組んでいます。

7 県立体育センターの機能の充実

施策の基本的考え方

本県のスポーツ振興の中核機関として教職員やスポーツ指導者などの研修、スポーツの普及・啓発、スポーツ医・科学支援、調査研究、スポーツ情報の提供、学校体育・スポーツへの支援等を充実し、市町村、スポーツ関係団体、大学等と連携を図り県民のスポーツ活動を効果的、効率的に支援します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★スポーツの普及・啓発の充実

ライフステージに応じたスポーツ活動の支援をはじめ、スポーツ指導者の育成、各種講習会や県民参加イベントの開催、総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着に関する支援など、スポーツの普及・啓発機能の充実を図ります。

★スポーツ情報サービス機能の充実（再掲）

「K S I Oネットワーク」の拡大・充実やITを利用した情報提供や電話・ファクシミリによる問合せへの対応などのスポーツ情報センター機能の充実を図ります。

★スポーツ医・科学面からの支援と調査研究の推進（再掲）

健康・体力づくりから競技力向上まで、県民の多様なスポーツ活動が安全で効果的に行われるよう、県、市町村、（財）県体育協会、（社）県医師会及び大学等の研究機関との連携を図り、スポーツ医・科学面からの支援や調査研究を推進します。

★学校体育に関する支援

豊かなスポーツライフの実践者としての基礎を培う学校体育教員の研修を充実させ、資質の向上を図るとともに、体育・保健の授業等を支援します。また、支援を必要とする児童生徒の体育・スポーツ活動を支援します。

★心と体の健康づくりの推進と支援

子どもたちの健康を心と体の両面から捉え、教員研修だけでなく、保護者や地域住民等に対する公開講座等を実施し、生涯に渡る健康づくりについて支援します。

★市町村・スポーツ団体等への支援機能の充実

市町村や、スポーツ関係団体、NPOなどのネットワーク化の支援など、県民のスポーツ活動を支える市町村や団体等への支援機能の充実を図ります。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★県立体育センターの施設・設備の充実

県立体育センターの機能である教職員の研修、スポーツ指導者の育成、医・科学支援、調査研究、情報提供、学校体育支援、スポーツの普及・啓発、競技力向上支援などが効果的に推進されるとともに、利用者の方々がいしやすいよう、施設・設備の整備について検討します。

めざすすがた

県立体育センターでは、教職員やスポーツ指導者の研修をはじめ、スポーツ医・科学支援、調査研究、スポーツ情報の提供、学校体育・スポーツの支援、総合型地域スポーツクラブの育成などスポーツの普及・啓発、県民の主体的なスポーツ活動や競技力向上に対する支援が行われ、本県のスポーツ振興の中核機関として機能しています。

チャレンジプロジェクト ～競技力向上のためのしくみづくり～

プロジェクトの目標

県民に夢と感動を与え、スポーツが持つ魅力や醍醐味を伝えるとともに、県内のスポーツ愛好者の競技意欲などを高めるため、全国大会や国際大会で活躍する選手を育成します。

そのために、神奈川の競技力のバロメーターとして、国民体育大会の男女総合成績（天皇杯）、女子総合成績（皇后杯）が共に、常に入賞することを目標に、ジュニア世代の選手発掘から計画的な育成強化体制の整備、トップアスリートの活動や活動拠点整備などの支援、競技団体の活動を更に活性化するための支援などを行います。

国民体育大会は、成年男女・少年男女の4種別を同時期に実施する競技大会であり、この国民体育大会の成績を都道府県の競技力のバロメーターとしてとらえ、国民体育大会で勝てる選手を育成することが、本県の競技力向上につながります。

神奈川の競技力が向上し、国民体育大会などの全国大会や国際大会において本県出身選手が数多く活躍することは、県内スポーツ愛好者にとって大きな目標となるとともに、そのような選手の活躍が醸し出すスポーツのエネルギーや魅力に接することで、スポーツに対する意欲が向上します。

構成事業（プログラム）

- 1 競技力向上に向けたトップアスリートの育成と活用 【重点プログラム】
- 2 トップアスリートを支える体制の構築

1 競技力向上に向けたトップアスリートの育成と活用 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

本県のトップアスリートの活躍は、県民に夢と感動を与え、スポーツが持つ魅力や醍醐味を伝えるとともに、県内のスポーツ愛好者の競技意欲などを高めることから、神奈川県出身選手が全国大会や国際大会で活躍できるよう、選手育成システムの充実を促進するとともに、本県が育成し、各種大会等で活躍したトップアスリートの活用を支援します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★一貫指導体制の整備

指導者や所属チーム、クラブが変わっても、同じ育成指導プログラムのもとで活動でき、競技選手として活躍できるように、多くの競技団体にジュニアから一貫して選手育成をおこなう一貫指導体制の整備を推進します。

★トップアスリートの活用の推進

競技団体や地域のスポーツクラブなどが開催する教室等にトップアスリートを派遣するなど、県内で育成されたトップアスリートの活用を推進します。

★選手育成強化体制の拡充

オリンピックやユースオリンピックなどの日本代表選手に、神奈川県育ちのトップアスリートが数多く選考されるよう、選手育成強化体制を拡充します。

★「かながわアスリートネットワーク」の設置と活用

県内スポーツ関係著名人やプロスポーツ選手、国体出場選手等による「かながわアスリートネットワーク」の設置を支援します。また、このメンバーが、「県民スポーツ週間」などで、スポーツ教室やイベント等の指導者や講師として活動できるような体制を整えます。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★ジュニアタレント発掘プロジェクトの推進

子どもたちの体力測定結果を活用し、今まで埋もれがちであったトップアスリートの資質を持つジュニアタレントを発掘するとともに、子どもたちの持つ能力や適性に合ったスポーツへの取組の促進に向けた検討を行います。

★トップアスリートの活動拠点の確保

トップアスリートが自身の競技力向上に向けた活動に集中し、その成果を十分に発揮できる環境の整備に向け、企業や大学、地域のスポーツクラブ等が活動の拠点となるための検討など、神奈川で活躍するトップアスリートの支援を検討します。

また、競技者引退後も後進の指導や選手育成に、優れた指導者として活動できる拠点づくりを検討します。

めざすすがた

将来性豊かなタレントの発掘が全県規模で行われるとともに、各競技団体において一貫指導体制が整備され、神奈川県出身のトップアスリートが、様々な全国大会や国際大会で活躍しています。

また、第一線を退いたトップアスリートが県内に定住し、子どもたちやスポーツ愛好者への指導などをとおして、スポーツを楽しんでいます。

2 トップアスリートを支える体制の構築

施策の基本的考え方

全国トップクラスの競技力を誇るスポーツ先進県となるよう、(財)県体育協会及び加盟競技団体による競技力向上体制の充実を支援するとともに、県立体育センターや大学などの研究機関、(社)県医師会、民間企業などが連携したサポート体制を構築します。また、障害者スポーツにおける競技性向上に向け、障害者スポーツ団体との連携・交流を促進します。

当面の取組(2010年度までに実施または実施予定の取組)

★スポーツ医・科学サポート体制の確立

競技の特性を把握したスポーツドクターなどが、競技団体ごとのスーパーバイザーとなり、選手強化の基礎となる体力測定の結果などを有効に活用しながら、選手の健康管理や傷害予防・トレーニングに関する専門的アドバイスを行います。また、効率的な選手育成を促進するため、(社)県医師会や県立体育センター、大学等の医・科学研究機関との連携を強化します。

★障害者スポーツ団体との連携・交流の推進

障害者スポーツの競技性向上に向け、障害の種別をふまえて、障害者スポーツ振興の主体となる団体の組織強化を支援するとともに、様々なスポーツ団体との連携・交流を推進します。

★プロスポーツ団体、企業スポーツチームとの連携

本県に本拠地を置くプロスポーツ団体や企業スポーツチームとの連携を図り、プロスポーツ団体などによる指導者派遣や教室開催などを促進し、県内競技者のすそ野の拡大や競技力向上を図ります。

中長期的な取組(2011年度以降に実施予定または検討する取組)

★競技力向上体制整備への取組

競技団体ごとの競技力向上体制整備に向けて、財政基盤の確立、マネージャー配置、活動拠点確保などへの取組を検討します。

めざすすがた

各競技団体においては、安定した財政基盤により主体的・効率的な経営が行なわれています。また、スポーツドクターやトレーナーなどによる医・科学サポートが盛んに行なわれ、選手が安心して競技活動に取り組み、効果的なトレーニングを実践するとともに、選手や指導者の資質が高まっています。

障害者スポーツにおいては、様々なスポーツ団体との連携・交流により、競技性向上をめざす方は、高い競技水準でスポーツを行っています。

エリアプロジェクト

～スポーツ活動の多様な場づくり～

プロジェクトの目標

県民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツができるよう、スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、施設の運営方法等の改善、学校体育施設の開放促進、企業・大学等のスポーツ施設の活用など、県民のスポーツ活動の多様な場の創出に向けた取り組みを進めます。

また、施設のユニバーサルデザイン化を進めるなど、高齢者や障害者等に配慮した施設の整備を進めます。

県民のスポーツニーズが多様化する中、それぞれの目的にあった施設が身近なところで、いつでも気軽に利用できる環境が望まれます。

この「エリアプロジェクト」は、県、市町村、民間等がそれぞれの役割分担にもとづき、スポーツ環境整備に努めるとともに、協働・連携による取組を一層進めることにより、県民が運動やスポーツを行う多様な場づくりをめざすものです。

構成事業（プログラム）

- 1 学校体育施設利用の促進 【重点プログラム】
- 2 県立スポーツ施設等の利活用の促進
- 3 身近なスポーツ施設の利用促進と多様な場の創出

1 学校体育施設利用の促進 【重点プログラム】

施策の基本的考え方

県民の身近なスポーツ活動の場の拡大を図るため、より地域に開かれたスポーツ施設として、学校体育施設を有効利用するため、地域との共同利用を促進します。

また、市町村と連携を図り、市町村が持つ学校体育施設についても、地域住民のスポーツ活動の場としてより一層の開放促進を進めます。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★学校体育施設開放の充実

県民の主体的なスポーツ活動を促進するため、県立学校体育施設をより多くの県民が利用できるよう、学校開放推進モデル事業の成果を踏まえ、広報の促進や利用者の利便性の向上等、学校体育施設開放を充実します。

★地域のスポーツクラブの活動拠点としての利用促進

学校体育施設を地域のスポーツクラブの活動拠点としての活用促進を図ります。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★「学校体育施設地域活用推進協議会（仮称）」の設置

県内全域の学校体育施設について、地域との共同利用を促進し、身近なスポーツ活動の中核施設とするため、県、市町村との連携を図るための「学校体育施設地域活用推進協議会（仮称）」を設置し、その運営方法、利活用の促進等の検討を行います。

めざすすがた

学校のグラウンドや体育館、テニスコートなどでは、児童生徒の活動とともに、地域の人々が、運動・スポーツを楽しんでいます。

児童生徒の放課後の活動に、地域の人々が一緒に参加している学校も多くあり、休日や平日の夜間においても、児童生徒の活動を見守りながら、様々なスポーツを楽しんでいます。

2 県立スポーツ施設等の整備と利活用の促進

施策の基本的考え方

県民の多様化するニーズにあった、より快適なスポーツ環境の整備を進めるために、施設・設備の充実を図るとともに、専門性を発揮するための効果的な施設運営や県民誰もがいつでも気軽に利用できる施設運営など、個々の県立スポーツ施設の特性に応じた効果的で効率的な施設運営と活用を促進します。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★県立スポーツ施設の運営改善

施設の無休化や利用申し込み等の電子化、利用時間、利用料金、利用方法等の見直しなどを進め、利用者の利便性の向上を図ります。

★指定管理者制度導入による民間活力の活用

個々の県立スポーツ施設の特性に応じた運営の改善を図るとともに、公の施設の指定管理者制度導入を機会に民間のノウハウを十分に活用し、多様化する県民ニーズに対応した効果的・効率的対応を図り、サービスの向上をめざすための取組を進めます。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★県立スポーツ施設・設備の充実

県立体育センター及び県立武道館について、県の中核機関としての施設・設備の充実を検討します。また、それぞれの県立スポーツ施設の機能が効果的に発揮されるよう施設・設備について計画的な整備を検討します。

★高齢者や障害者等に配慮した施設の整備

高齢者や障害者等に配慮した施設のユニバーサルデザイン化や、乳幼児を連れた利用者のための託児施設の整備等について検討します。

めざすすがた

個々の県立スポーツ施設の特性に応じた施設の整備が進み、効果的で効率的な施設運営と活用が促進され、施設の無休化、利用時間の拡大、申し込み等電子化が実施され、より利用しやすい施設運営が図られています。

県内の様々なスポーツ施設ではユニバーサルデザイン化が進み、誰もが利用しやすい施設になっています。

また、民間活力の活用などによりサービス向上が図られています。

3 身近なスポーツ施設の利用促進と多様な場の創出

施策の基本的考え方

県民のスポーツ活動のための多様な場の創出を図るため、施設を所管する部局の連携体制のもとに総合的な取組を推進するとともに、企業・大学などとの協働・連携によるスポーツ環境の整備に取り組みます。

当面の取組（2010年度までに実施または実施予定の取組）

★スポーツ施設を有する県立施設等の開放促進

都市公園などの公園施設を気軽に運動ができる場として活用を促すとともに、公共スポーツ施設以外の一般行政施設が持つスポーツ施設の一般開放を進め、地域住民のスポーツ活動を促進します。

★県が整備を行う河川などの公共空間における運動やスポーツの場の整備・提供

河川、海岸、遊水池等の公共空間について、市町村などと連携して、河川敷グラウンド、ビーチバレーのコート、遊水池や下水処理場の上部利用の運動公園など、スポーツ施設の整備を促進するとともに、河川、道路、公園の遊歩道等において、手軽にウォーキングやジョギングなどができるよう整備を行い、県民のスポーツ活動の多様な場の提供に努めます。

★大学スポーツ施設の地域開放

大学スポーツ施設の地域住民への開放に関する情報提供を推進します。

中長期的な取組（2011年度以降に実施予定または検討する取組）

★企業スポーツ施設の地域開放

企業スポーツ施設の地域開放について検討します。

★子どもの遊び場の創出と充実

子どもたちが身近な場所で、気軽に外遊びや運動ができる広場や公園などを充実するとともに、新たな遊び場として活用可能な休耕田や遊休地などの利用に向けた取組を検討します。

めざすすがた

公園施設や一般行政施設が身近なスポーツ活動の場として有効に活用され、様々な運動やスポーツが行われています。

また、河川、海岸、遊水池等の公共空間や休耕田や遊休地などの様々な資源を有効活用し、スポーツ活動の場として有効利用されています。

さらに、地域の企業や大学のスポーツ施設においても開放が進み、地域の住民が気軽に利用し、スポーツ活動に親しんでいます。

3 施策・事業評価

アクティブかながわ・スポーツビジョンは、2015年を目標年度としています。

このビジョンで、提案した目標がどの程度達成されたのか、また、それぞれの施策や事業がどのように県民に受け入れられ、県民のスポーツ実施を支援したかを評価する必要があります。

この評価は、数値的な評価はもとより、県民の運動・スポーツ活動に対する意識やニーズがどのように変化しているのかを把握し、今後取り組むべき課題は何かを明確にするためのものでもあります。

また、県及び市町村をはじめ、スポーツ関係機関、民間団体、企業においても、それぞれの役割の中での取組について、自ら評価するとともに、その評価結果を共有しながら、総合的にスポーツ振興の推進に活用します。

このビジョンは、施策事業評価を踏まえ、当面の取組の年次期限であり、また、総合計画の「実施期間」である2010年度を目途に、見直しを行います。

(1) 推進体制

このビジョンに示している様々な取組は、本県が主体となって取り組むものです。

県はこれらの取組を庁内の「スポーツ施策総合推進本部」を中心に推進していきます。

また、様々な地域や組織等との広域的な連携や横断的な連携が必要な取組については、本ビジョンにも示してある様々なネットワークを活用し、市町村や関係機関、関係団体等と連携・協働を図りながら推進していきます。

(2) 評価方法

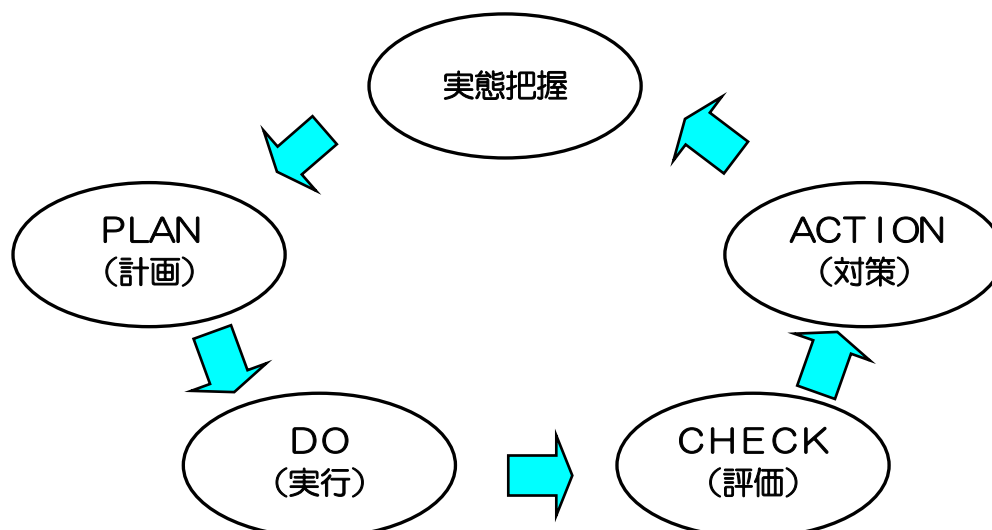
○ 数値目標の達成度における評価

数値目標として掲げた県民（成人）のスポーツ実施率・非実施率、子どものスポーツ実施率・非実施率を調査し、それぞれの割合がどのように変化したかを評価し、施策の見直し等の検討材料とします。

○ 県民のスポーツ活動に対する満足度等に関する評価

それぞれの県民のスポーツ活動に対する満足度、運動・スポーツ活動に向ける誘因や阻害要因等を分析・評価し、施策の見直し等の検討材料とします。

※ それぞれの達成度については、概ね3～5年ごとに調査します。



資料

○第1章及び第2章新規データ

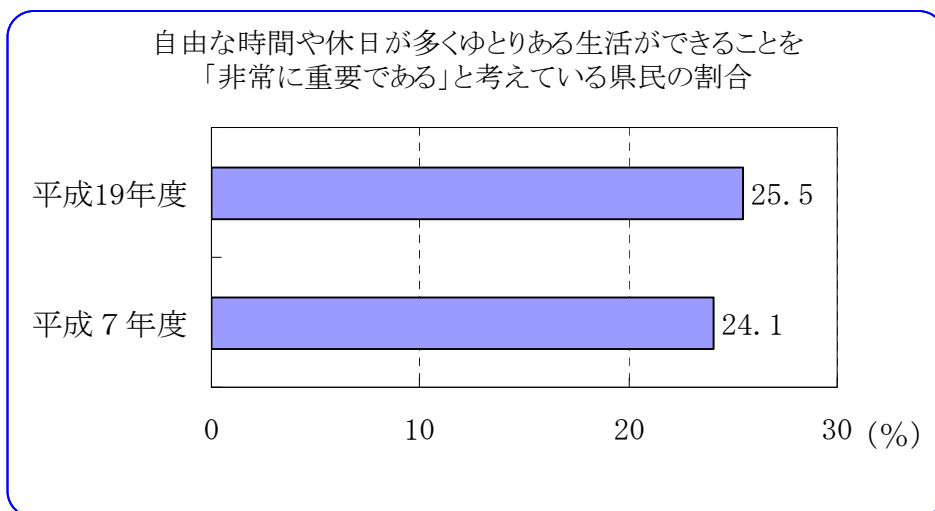
※ [] 内は指針本冊子ページ

- 自由な時間や休日が多くゆとりある生活ができることを「非常に重要である」と考えている県民の割合 [P8] P38
- 年齢3区分別人口割合の推移 [P8]
- 県内生活習慣病有病者率 [P9]
- 我が国のインターネット利用人口と人口普及率の推移 [P10] P39
- 県民（成人）の運動やスポーツの実施状況 [P11]
- 運動やスポーツをした理由 [P12]
- スポーツ活動の満足度 [P12] P40
- 1年間に行った運動・スポーツ種目（トップ5） [P12]
- 今後行いたい運動・スポーツ種目（トップ5） [P12]
- 健康・体力観の全国平均との比較（「大いに感じる」の割合） [P13]
- 本県における児童生徒の体力・運動能力の現状 [P14] P41
- 児童生徒の運動・スポーツの実施状況 [P15] P42
- 全国大会優勝（個人・団体）及び国際大会入賞者数 [P17]
- 公共スポーツ施設への要望 [P18] P43
- スポーツ関係組織のネットワーク形成のイメージ [P20]
- 成人のスポーツ実施率（週1回以上）と非実施率の現状と目標値 [P24] . P44
- 子どものスポーツ実施率（週3回以上）と非実施率の現状と目標値 [P25]

○巻末資料新規データ

- 資料1 神奈川県内の運動・スポーツ関係主要データ [P70] P45
- 資料2 「神奈川力構想」とスポーツ振興関係戦略プロジェクトの概要（抜粋） [P71] P46
- 資料3 神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」の改訂経過 [P72] P47
- 資料4 神奈川県スポーツ振興審議会（第24期）委員名簿 [P73] . P48
- 資料5 スポーツ振興施策推進本部構成課一覧 [P74] P49

自由な時間や休日が多くゆとりある生活ができることを「非常に重要である」と考えている県民の割合 [P8]



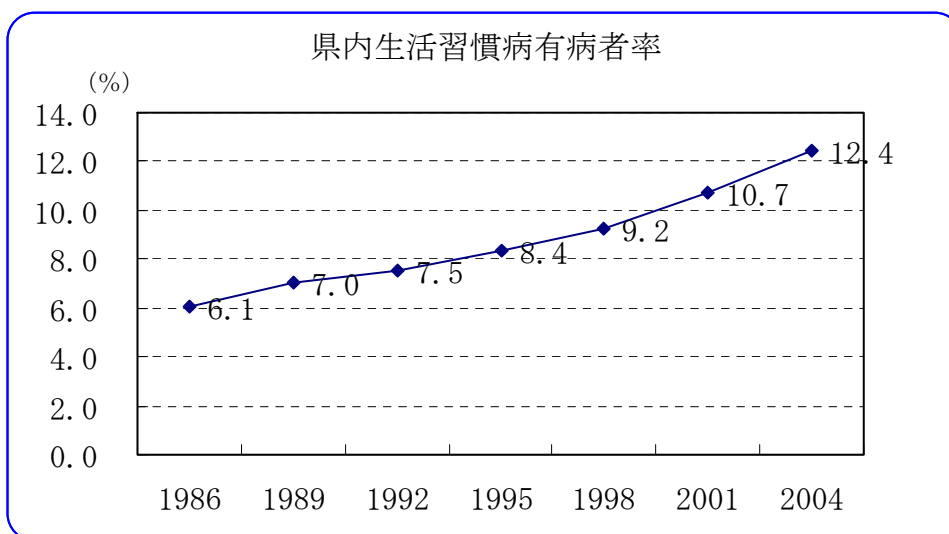
出典：県民ニーズ調査 (H19)

年齢3区分別人口割合の推移 [P8]

2007年1月1日現在	
65歳～	17.8%
15～64歳	68.4%
0～14歳	13.4%

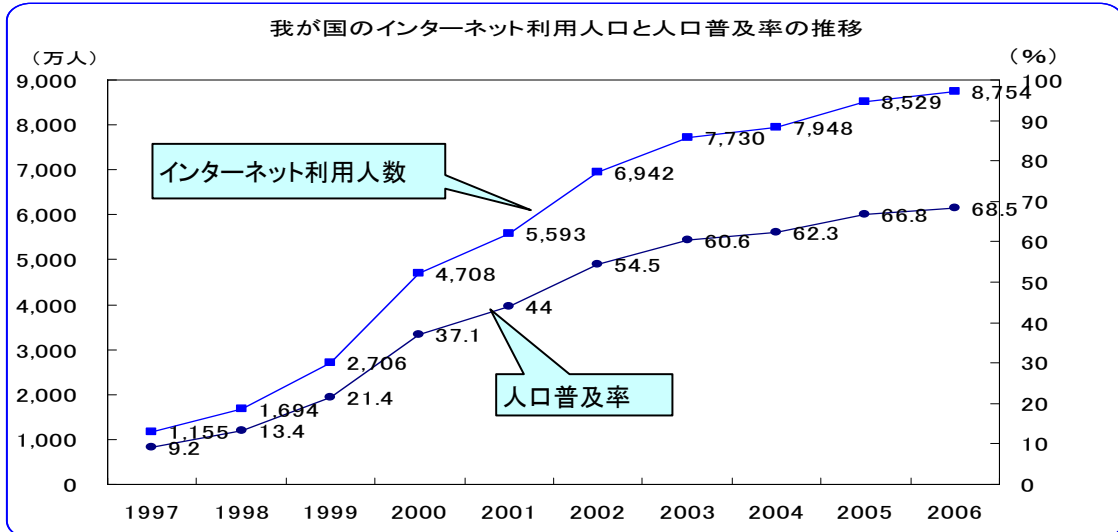
出典：神奈川県年齢別人口統計調査 (H19)

県内生活習慣病有病者率 [P9]



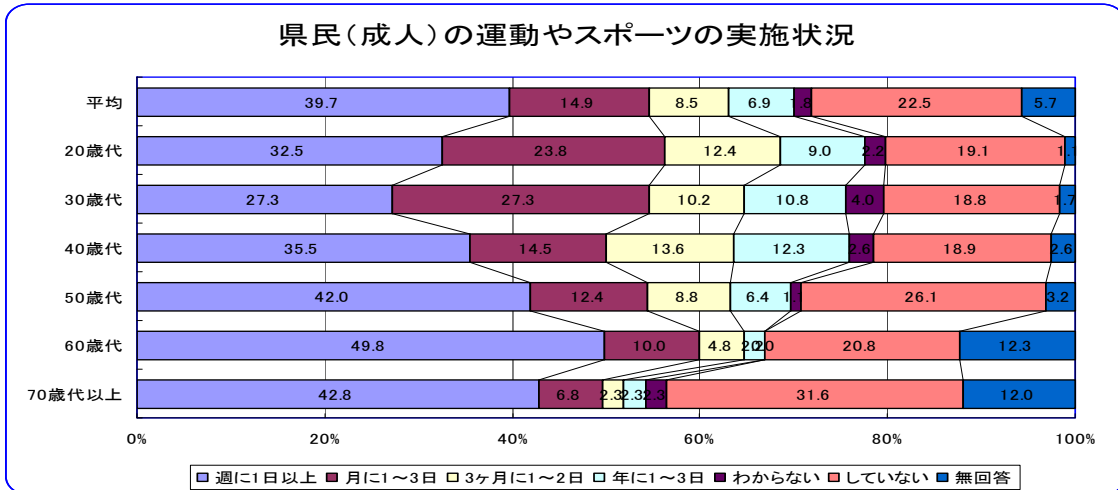
出典：国民生活基礎調査 (H16)

我が国のインターネット利用人口と人口普及率の推移 [P10]



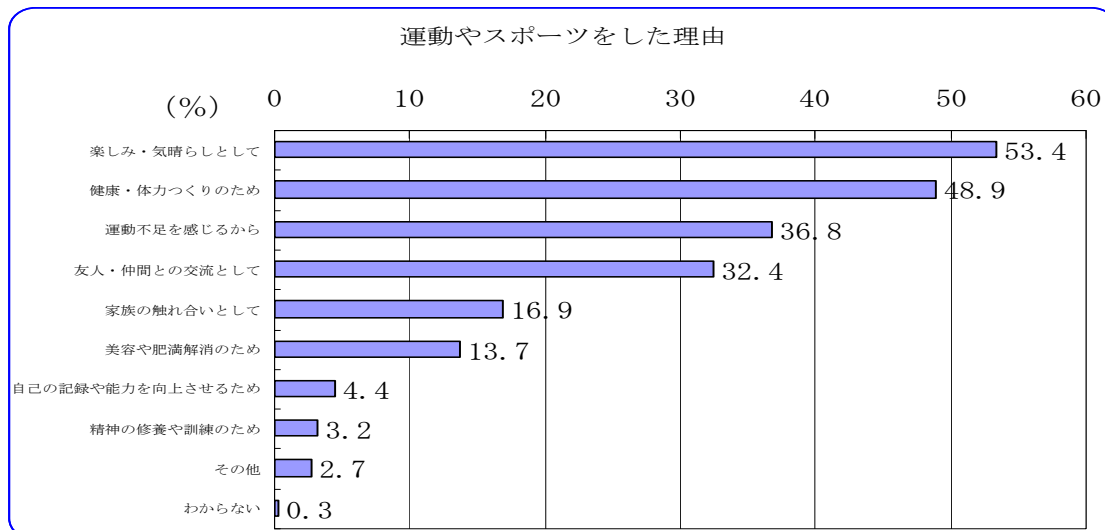
出典：情報通信白書 (H19)

県民（成人）の運動やスポーツの実施状況 [P11]



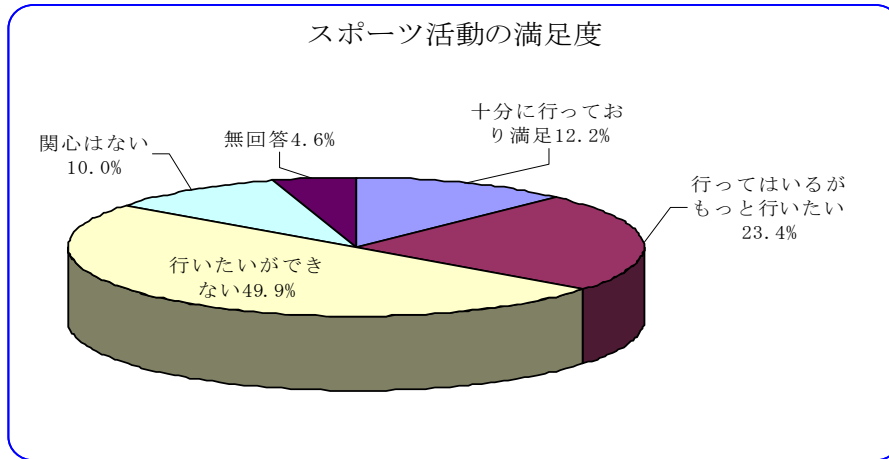
出典：県民の体力・スポーツに関する調査 (H18)

運動やスポーツをした理由 [P12]



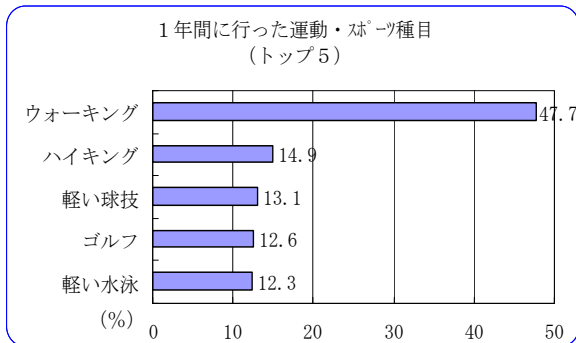
出典：県民の体力・スポーツに関する調査 (H18)

スポーツ活動の満足度 [P12]

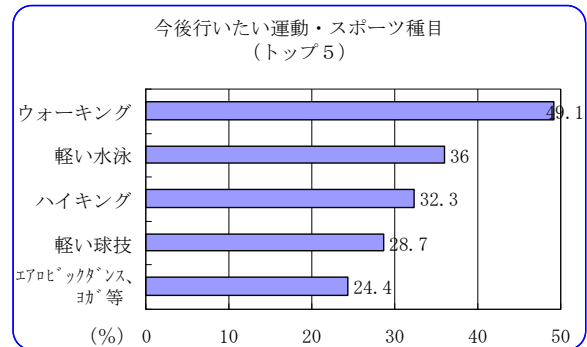


出典：県民の体力・スポーツに関する調査 (H18)

1年間に行った運動・スポーツ種目 [P12]

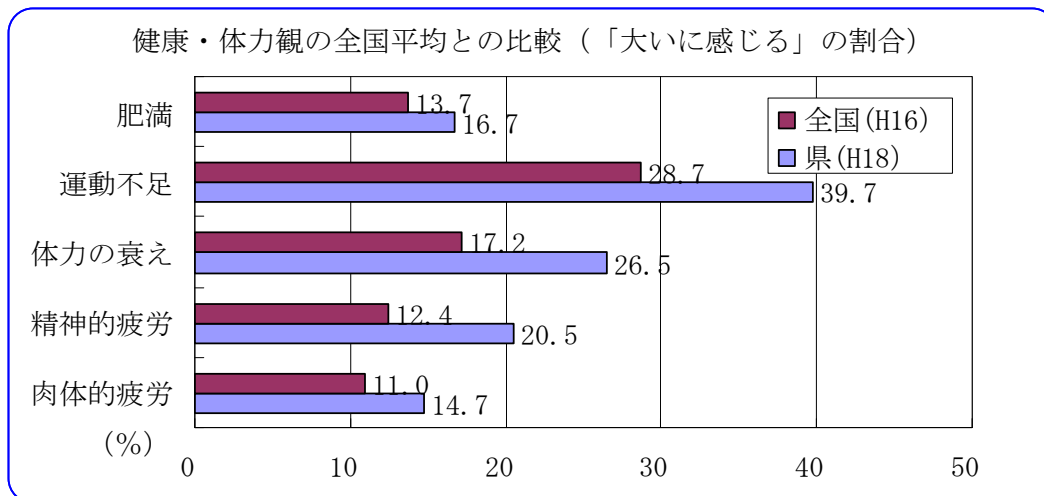


今後行いたい運動・スポーツ種目 [P12]



出典：県民の体力・スポーツに関する調査 (H18)

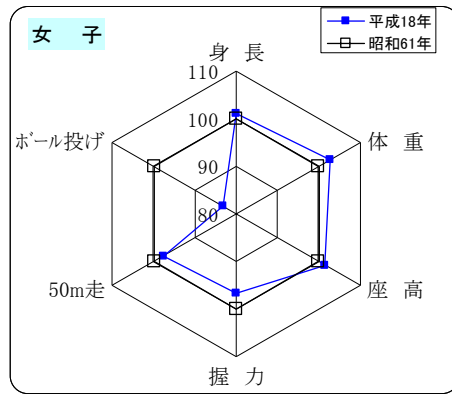
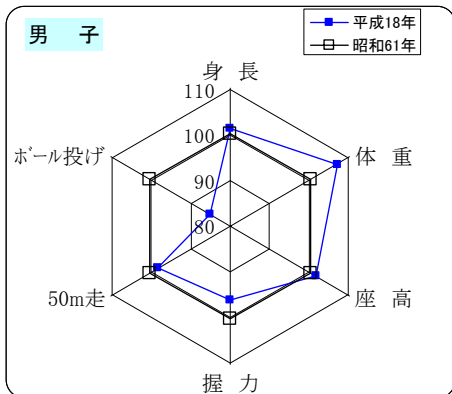
健康・体力観の全国平均との比較 (「大いに感じる」の割合) [P13]



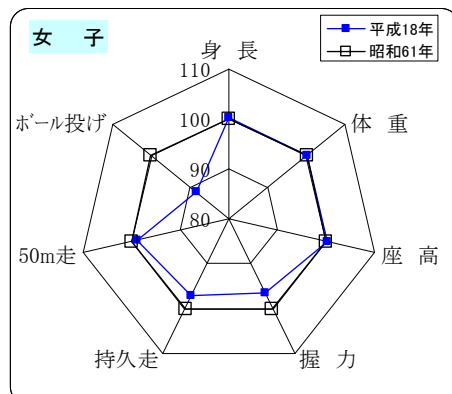
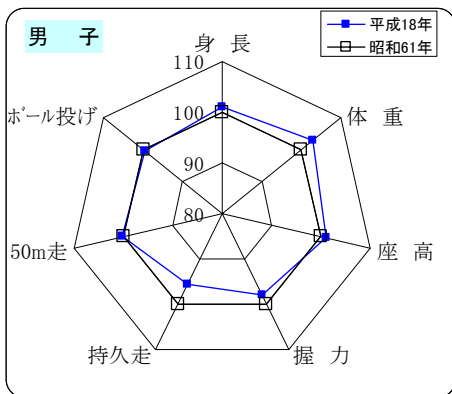
出典：体力・スポーツに関する世論調査 (H16) 県民の体力・スポーツに関する調査 (H18)

本県における児童生徒の体力・運動能力の現状 [P14]

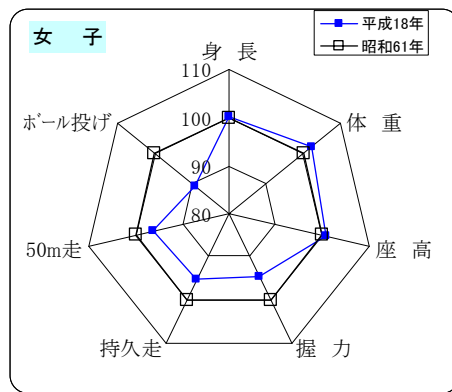
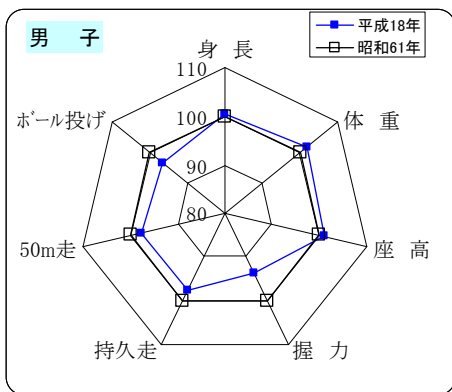
小学6年生 (11歳)



中学3年生 (14歳)

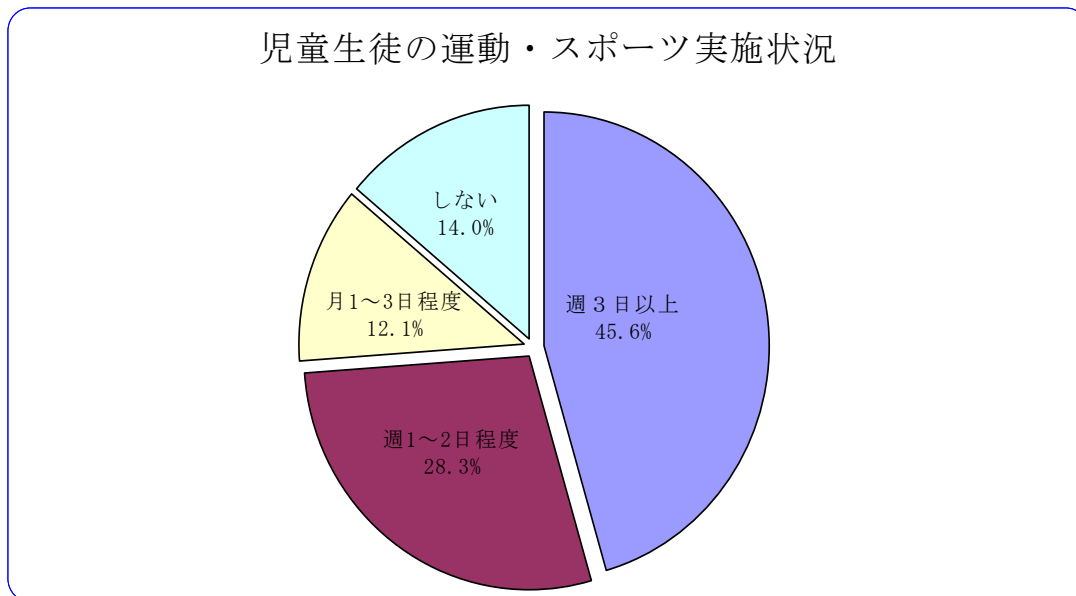


高校3年生 (17歳)



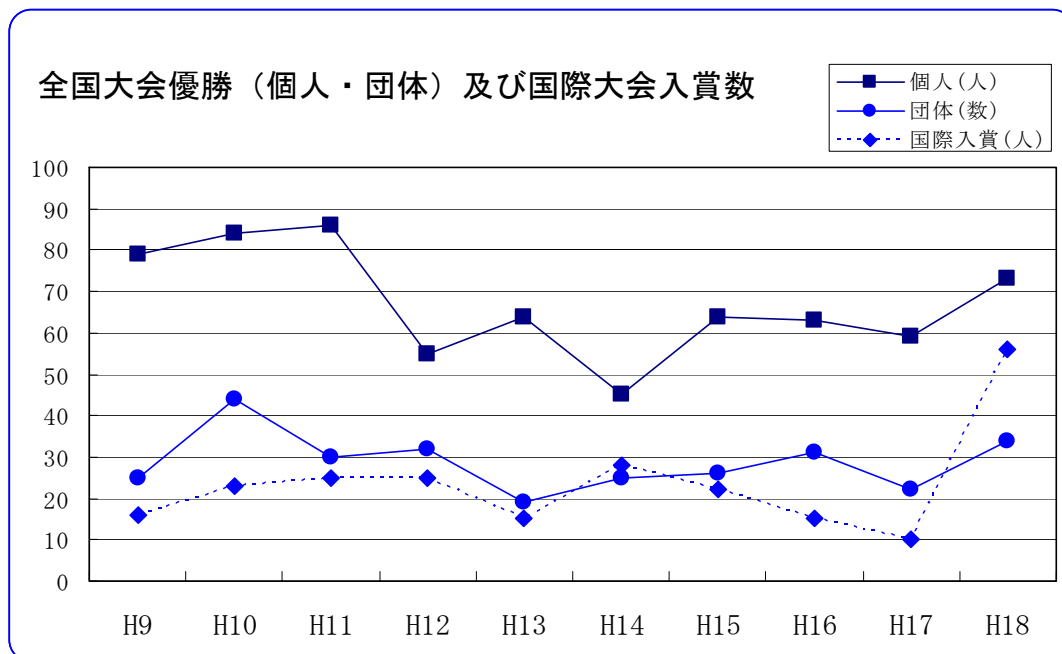
出典：神奈川県児童生徒体力・運動能力調査 (H18)

児童生徒の運動・スポーツの実施状況 [P15]



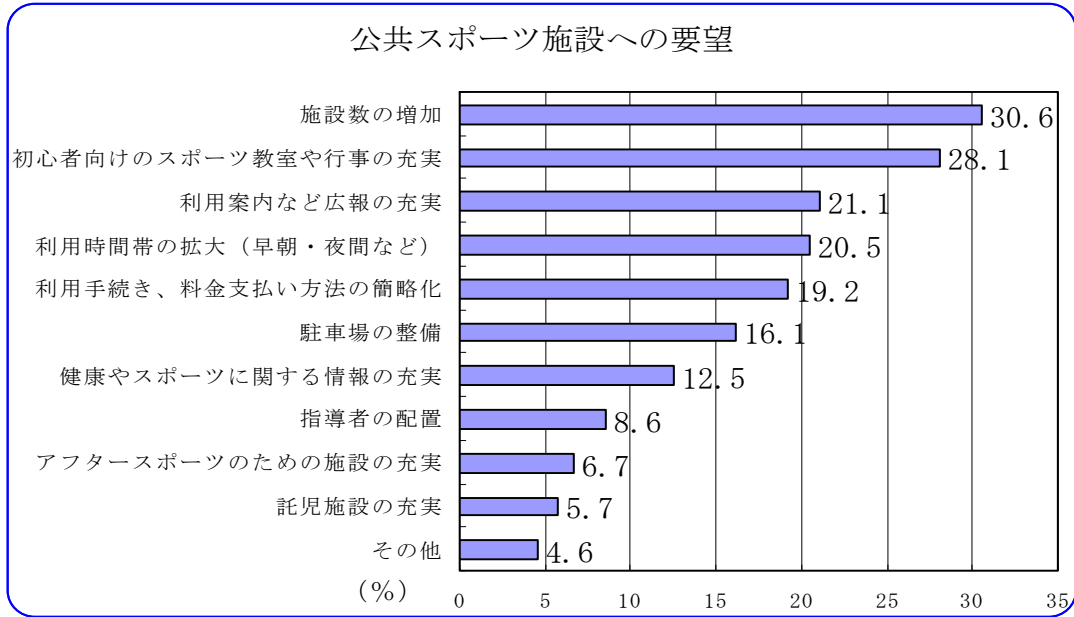
出典：神奈川県児童生徒体力・運動能力調査 生活実態調査 (H18)

全国大会優勝（個人・団体）及び国際大会入賞者数 [P17]



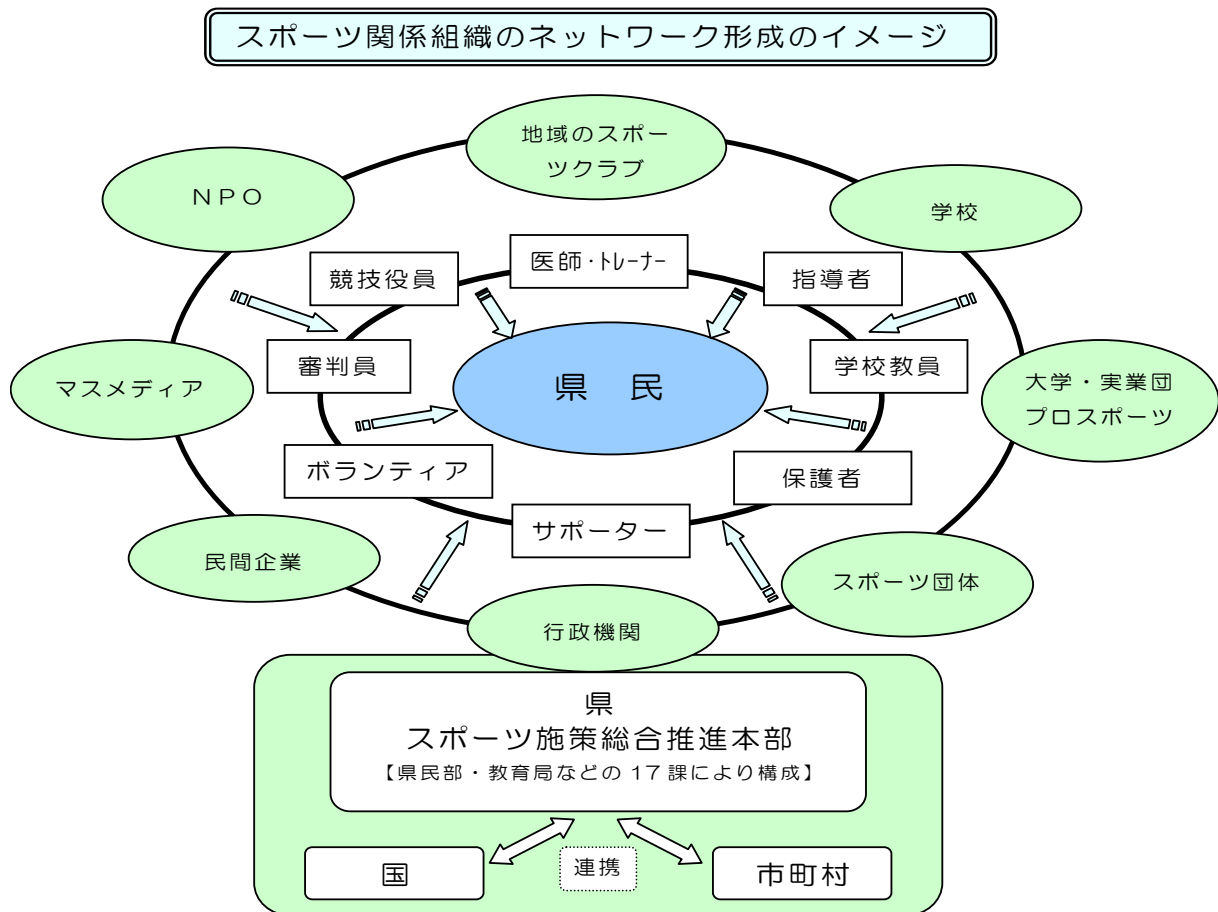
県スポーツ課調べ

公共スポーツ施設への要望 [P18]



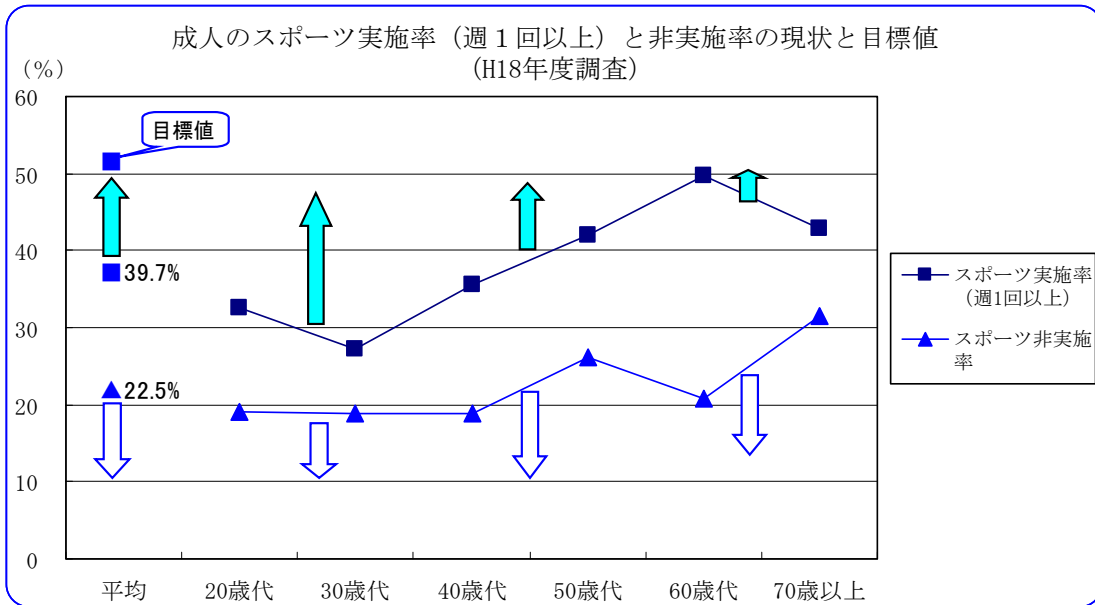
出典：県民の体力・スポーツに関する調査（H18）

スポーツ関係組織のネットワーク形成のイメージ [P20]

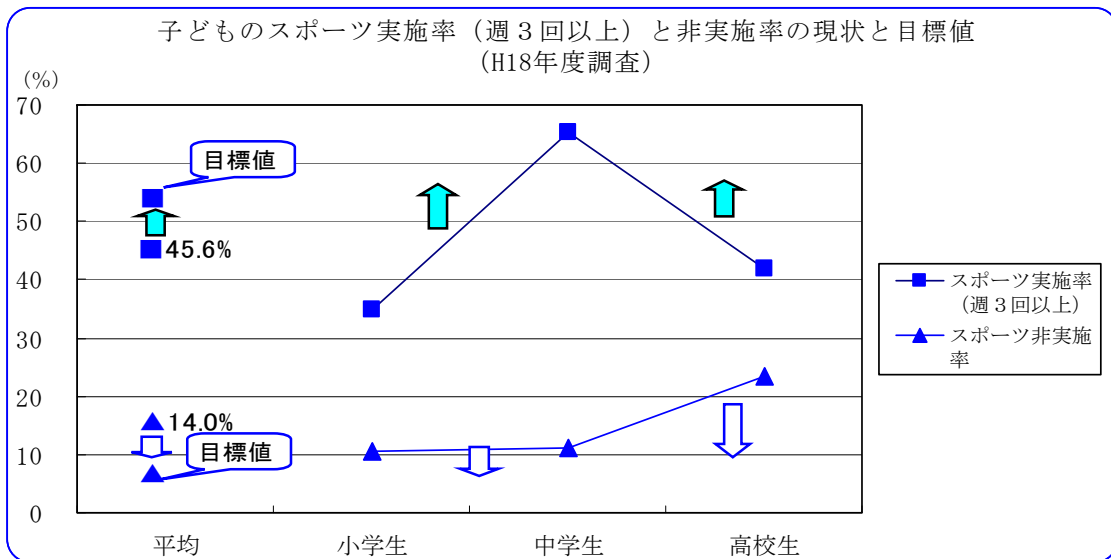


出典：「生涯スポーツフェスティバル報告書」より一部改変
 平成14年3月 生涯スポーツフェスティバル実行委員会

成人のスポーツ実施率（週1回以上）と非実施率の現状と目標値 [P24]



子どものスポーツ実施率（週3回以上）と非実施率の現状と目標値 [P25]



神奈川県内の運動・スポーツ関係主要データ

区分	項目	人数等	調査日等
指導者等	日本体育協会公認スポーツ指導者等	※1 9,449人	H19.10.18
	健康づくりのための運動指導者	※2 2,623人	H19.12.1
	スポーツ関係団体資格保有者	※3 6,132人	H19.12.1
	障害者スポーツ関係団体資格指導員	※4 1,405人	H19.12.1
	生涯スポーツリーダー	384人	H19.6.9
	初級障害者スポーツ指導者	1,124人	H19.3.31
	体育指導委員(県内33市町村合計)	4,847人	H19.12.1
	スポーツリーダーバンク登録者数	846人	H19.12.1
	かながわスポーツボランティアバンク登録者数	205人	H19.12.1
	神奈川県スポーツ指導者連絡協議会登録者数	1,227人	H19.12.1
団体等	(財)県体育協会加盟競技団体	53団体	H19.12.1
	(財)県体育協会スポーツ少年団加盟団体	451団体	H19.4.1
	特定非営利活動法人県レクリエーション協会加盟種目団体	21団体	H19.12.1
	スポーツ関係NPO法人	180法人	H19.12.1
	障害者社会参加推進協議会	16団体	H19.12.1
	総合型地域スポーツクラブ(活動中クラブ)	31クラブ	H19.12.1
	総合型地域スポーツクラブ(創設準備中クラブ)	12クラブ	H19.12.1
施設等	公立スポーツ施設(県立を含む)	1,783施設	H19.4.1
	県立スポーツ施設	125施設	H19.4.1
	県立スポーツ施設利用状況(年間利用者)	829千人	平成18年度実績
	学校体育施設開放事業実施率(市町村立小中学校)	98.8%	平成18年度実績
	学校体育施設開放事業利用者数(市町村立小中学校)	14,513千人	(1,285校中1,270校)
	学校体育施設開放事業実施率(県立高等学校)	99.3%	平成18年度実績
	学校体育施設開放事業利用者数(県立高等学校)	459千人	(152校中151校)

※1 (財)日本体育協会の公認スポーツ指導者等(指導員・コーチ・教師等)の総数

※2 健康運動指導士・健康運動実践指導者の総数

※3 (社)日本キャンプ協会・(財)日本レクリエーション協会・(財)日本体育施設協会・(財)日本スポーツクラブ協会が認定している資格保有者の総数

※4 (財)日本障害者スポーツ協会が認定している資格保有者の総数

「神奈川力構想」とスポーツ振興関係戦略プロジェクトの概要（抜粋）

計画の構成と期間

	計画期間	構成
基本構想	概ね20年間 【2007(平成19)年度～ 2025(平成37)年度】	第1章 神奈川のすがた 第2章 神奈川をとりまく社会環境 第3章 基本目標 第4章 政策の基本方向 第5章 基本構想の見直し
実施計画	今後4年間 【2007(平成19)年度～ 2010(平成22)年度】	第1章 施策展開に当たって 第2章 主要施策 第3章 戦略プロジェクト 第4章 計画の推進に当たって

主要施策と戦略プロジェクト

主要施策	中柱	戦略プロジェクトNO.
I 産業・労働	1 神奈川の力を生かした産業集積の促進 2 地域の特色を生かした産業の振興 3 農林水産業の活性化 4 生き生きと働くための就業支援と職業能力の向上	1～7
II 健康・福祉	1 ともに生き支えあう地域社会づくり 2 高齢者や障害者が地域で安心してくらするしくみづくり 3 地域における保健・医療体制の整備 4 保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着	8～12
III 安全・安心	1 犯罪のない安全な地域社会づくり 2 大規模な災害などへの対応力の強化 3 生活の安心の確保 4 基地対策の推進	13～15
IV 教育・子育て	1 子ども・子育てを支える社会環境の整備 2 支援を必要とする子ども・家庭への対応 3 若者が心豊かに育ち自立できる社会づくり 4 希望を与え信頼にあふれる学校づくり 5 時代や社会の変化に対応した学びの推進	16～21
V 県民生活	1 ともに生きる地域社会の実現 2 新しい公共を担う多様な担い手への支援 3 文化芸術・スポーツを楽しむ環境づくり 4 暮らしと行政の情報化 5 県民との対話による開かれた県政の推進	22～25 26文化芸術・スポーツ を楽しむ環境づくり 27
VI 環境	1 地球温暖化対策などの推進 2 循環型社会づくり 3 ライフスタイルや事業活動のあり方の転換 4 生活環境の保全 5 自然環境の保全・再生と活用	28～32
VII 県土・まちづくり	1 次の世代に引き継げる持続可能な県土づくり 2 総合的な交通ネットワーク形成の推進 3 美しく住みやすい住まい・まちづくり 4 地域の特性を生かした地域づくり	33～38

戦略プロジェクト26「文化芸術・スポーツを楽しむ環境づくり」の内容（スポーツ関係）

<p>4 健康な暮らしに根つき夢と活力を生むスポーツ活動の推進</p> <p>県民だれもが運動やスポーツを実践するきっかけづくりとして、県民スポーツ週間(日)を設置するとともに、ラジオ体操などを取り入れた3033運動モデルを提唱するなどの普及・啓発を進めます。さらに、県民の競技スポーツ水準の向上に資するため、市町村対抗形式のスポーツ大会を開催するとともに、スポーツ選手の一貫指導システムを整備します。</p>
<p>5 スポーツ活動の場づくり</p> <p>だれもが身近なところでスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行います。</p>
<p>6 部活動の活性化</p> <p>高校生が運動部・文化部活動に取り組みやすい環境を整備するため、「かながわ部活ドリームプラン21」に沿った様々な取組みを進めます。</p>

神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」の改訂経過

改訂の経過 ・手続き	神奈川県 教育委員会	神奈川県スポー ツ振興審議会	スポーツ施策 総合推進本部	神奈川県議会	県民等 意見募集 ※県民、市町村 関係団体等
平成19年度	改訂方針 審議等	8月定例会 8月21日	第2回会議 8月8日		
	改訂素案 審議等		9月 改訂素案 作成・確認		
	改訂案 審議等	11月定例会 11月9日	9月～10月 改 訂素案に対する 意見聴取 第108回審議会 10月26日	10月 改訂案 作成・確認	11月定例会 11月20日 指針改訂案 に対する意 見募集 11月26日 ～ 12月25日
	改訂最終案 審議等	1月定例会 1月15日 2月定例会 2月4日	第109回審議会 1月18日	第3回会議 1月16日 1月定例会 1月21日	
	指針改訂	指針改訂 [平成20年3月]			

神奈川県スポーツ振興審議会（第24期）委員名簿

平成19年12月1日現在

役職	氏名	所属
会長	川口千代	京都女子大学教授
副会長	石原春男	(財)神奈川県体育協会専務理事
委員	朝野哲夫	神奈川県高等学校体育連盟会長
〃	池田裕恵	東洋英和女学院大学教授
〃	牛村忠雄	神奈川県市町村教育長会連合会会長
〃	大井康裕	神奈川県議会議員
〃	岡本正喜	神奈川県体育指導委員連合会会長
〃	落合優	横浜国立大学教授
〃	梶原洋子	文教大学教授
〃	川久保格	(社)神奈川県医師会健康スポーツ医部会担当理事
〃	川向妙子	東海大学教授
〃	倉田昭人	神奈川新聞社編集局運動部長
〃	鈴木ひでし	神奈川県議会議員
〃	高木茂	(財)神奈川県私立中学高等学校協会理事長
〃	成田憲一	横浜市市民活力推進局長
〃	根本恒夫	神奈川県中学校体育連盟会会長
〃	前嶋笑子	神奈川県地域婦人団体連絡協議会副会長
〃	丸山由美	スポーツ指導者
〃	宮嶋泰子	株式会社テレビ朝日編成制作局アナウンス部
〃	森正明	神奈川県議会議員

スポーツ施策総合推進本部構成課一覧

本部長：県民部長
副本部長：教育政策担当部長

平成20年1月16日現在

部局名等	課名	推進本部	健康・体力づくり部会	施設整備・活用部会
県民部	県民総務課	●		○
	国際課	●		
	学事振興課	●	○	
	文化課	●		
	青少年課	●	○	○
環境農政部	緑政課			○
保健福祉部	保健福祉総務課	●		○
	地域保健福祉課	●	○	
	健康増進課	●	○	
	子ども家庭課	●	○	
	障害福祉課	●	○	
	高齢福祉課	●	○	
商工労働部	労政福祉課			○
県土整備部	県土整備総務課	●		○
	都市整備公園課	●		○
	道路管理課			○
	道路整備課			○
	下水道課			○
	河川課			○
	砂防海岸課			○
企業庁	経営局財産管理情報課			○
教育局	教育政策課	●		
	子ども教育支援課		○	○
	保健体育課	●	○	
	生涯学習文化財課	●		
	スポーツ課	●	○	○

※17課

事務局：教育局スポーツ課

神奈川県スポーツ振興指針

アクティブかながわ・スポーツビジョン改訂版

スポーツのあるまち・くらしづくりの実現に向けて

編集・発行 神奈川県教育委員会教育局スポーツ課
〒231-8509 横浜市中区日本大通 33
電話 045-210-8378



教育委員会教育局スポーツ課

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 電話 (045) 210-1111 (代表)